

# 太田市内遺跡 7

—— 平成 22 年度調査 ——

2 0 1 2

群馬県太田市教育委員会

# はじめに

太田市は、北に八王子丘陵・渡良瀬川があり、中央やや東側に金山がそびえ立ち、南は利根川まで広がる広大な面積を有する市です。市の東部には、東日本最大の前方後円墳である天神山古墳や重要文化財に指定された形象埴輪を出土した塚廻り古墳群などの著名な古墳があります。また、市の西部を中心とした地域は、中世に新田荘として栄えた地域でありました。

本報告書は、平成22年度に実施した、市内の様々な開発事業に伴う確認調査の結果をまとめております。埋蔵文化財は、かけがいのない郷土の遺産であります。我々は、先人の残した遺産を掘り起こし、整理・保存・活用していくことが、歴史解明の一助になり、豊かで文化のかおり高い町づくりの推進をになうものと確信しております。

最後になりましたが、調査を実施するに当たりご指導ご協力いただきました関係各位、また、寒暖の中、発掘調査に参加していただいた方々に厚くお礼申し上げます。

平成24年 3 月

太田市教育委員会

教育長 岡 田 孝 夫

## 例 言

- 1 本報告書は、太田市教育委員会が国宝重要文化財等保存整備費補助金と群馬県文化財保存整備費補助金を得て実施した「市内遺跡発掘調査」をまとめた報告書である。
- 2 発掘調査は、太田市教育委員会が平成22年度に実施し、整理作業は平成23年度に実施した。
- 3 確認調査を実施した遺跡について調査概要を掲載した。
- 4 太田市教育委員会の調査組織は下記の通りである。

### 平成22年度（発掘調査）

調査主体者 太田市教育委員会 教育長 岡田孝夫

事務局 太田市教育委員会 教育部長 八須利秋 副部長 武笠敏朗

文化財課参事 宮田 毅 課長補佐 穴原雅己、須永光一

係長 小宮 豪、城代富美江 係長代理 小宮俊久、岡部章子、高橋之雄

主査 神保晴美、野本智久、赤石光司、浜田弘樹、長谷川幸男、天笠圭子

主任 静野勝信、中村 渉、荒井文夫、山口高志、岸 伸洋、遠坂純伸、関根圭介

主事 鹿山くみ子 主事補 福島雄一 嘱託 石原由香

臨時職員 星野 翔、金子由依、千葉高久

### 平成23年度（整理作業）

調査主体者 太田市教育委員会 教育長 岡田孝夫

事務局 太田市教育委員会 教育部長 大槻裕美 副部長 林 寛司

文化財課参事 宮田 毅、金子公治 課長補佐 須永光一、小暮英司

係長 小島幹夫、城代富美江 係長代理 小宮俊久、松井成江、板垣祥子

主査 赤石光司、野本智久、浜田弘樹、栗田雅美、長谷川幸男、天笠圭子

主任 静野勝信、中村 渉、山口高志、岸 伸洋、遠坂純伸、関根圭介

主事 福島雄一 臨時職員 須田茂、星野 翔、金子由依、江泉謙一

- 5 本稿の編集・執筆は、小宮俊久が担当した。
- 6 本書に掲載した遺構の写真は各調査担当者が撮影した。
- 7 発掘調査および本書の作成にあたっては下記の方々、機関より御教授、御協力を賜った。  
記して感謝を表したい（アイウエオ順、敬称略）。

群馬県教育委員会文化財保護課、（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団

- 8 本書に係わる資料ならびに遺物は太田市教育委員会で保管している。
- 9 発掘調査ならびに整理作業に携わった作業員は、下記のとおりである。（敬称略、順不同）  
飯田光子、大坪春美、木村純子、中村久乃、宮下やす江、毛呂小夜子、植木敏光、小此木克己、木村光夫、茂木正州、高橋 章、大谷公男

## 凡 例

- 1 第4章の調査地点位置図の縮尺は1／5,000とした。これ以外の縮尺についてはスケールを付した。
- 2 調査地点位置図の方位は、北を上とした。トレンチ配置図の方位は図中に表示した。
- 3 遺物の縮尺については、スケールを付した。
- 4 第3章「平成22年度調査地一覧表」中の「台帳No」は、太田市文化財課で管理している台帳の番号である。また、「ひまわり」とは、太田市文化財地理情報システムの番号である。第4章本文中の「台帳H22No.34」は、平成22年度に受け付けた遺跡地内の34番である。

## 目 次

序 文

例 言

凡 例

目 次

第1章 調査に至る経過	1
第2章 調査の方法および経過	2
第3章 遺跡の位置と歴史的環境	2
第4章 確認調査の結果	5
第5章 まとめ	38



## 第1章 調査に至る経緯

太田市では、公共事業に関しては、前年度に事業内容についての照会を行い、確認調査が必要な事業については新年度に確認調査を行うこととした。また、民間の開発については、事前問い合わせの窓口を開いて事前の事業照会を行い、必要に応じて工事着手前に立会・確認調査を実施することとした。確認調査は、文化財保存事業費国庫補助金や県費補助金を受けて、「市内遺跡発掘調査」として事前の試掘・確認調査を実施し、開発事業との調整を図ることとした。また、個人住宅の確認調査で遺構が確認された場合は本調査を実施することで、開発事業との調整を図ることとした。



太田市の全体図

## 第2章 調査の方法および経過

太田市教育委員会では、前述の通り、開発内容を公共事業と民間開発の2種類に分けて対応している。太田市遺跡地図をもとにして、事前に埋蔵文化財包蔵地であるかどうかの判断を行い、包蔵地であった場合は、発掘届けの提出をしていただき、工事内容によっては、事業者から確認調査依頼書の提出をうけ、確認調査を実施している。

確認調査は、対象となる土地の地形、形状や開発計画を考慮した上でトレンチを設定し、遺構確認面まで掘削することにより、遺構の有無を確認している。確認された遺構については、平面図、断面図等を作成し、写真撮影を行っている。また、個人住宅や鉄塔建設等の狭い面積での開発においても、地下に著しく影響を及ぼす工事については確認調査の対象とし、遺構が確認された場合については本調査対象としている。(個人住宅については市内遺跡で対応している)。

整理作業においては、これらの調査によって出土した遺物の整理や図面の整理を実施し、翌年度にその成果を「太田市内遺跡」として、報告書の刊行を行っている。

### ＜平成22年度の調査＞

平成22年度は、41箇所の確認調査を実施した。このうち国庫補助事業による「市内遺跡」として実施した遺跡は31箇所で、他は太田市単独費用で実施した。「市内遺跡」の主な内容は、個人住宅10件、集合住宅4件、宅地造成4件等である。平成20、21年度には、柱状改良工事が行われる部分のすべてについて確認調査を実施した。この結果、個人住宅の柱状改良工事が行われる部分は相対的に地盤が緩く、確認調査ではほとんど遺構が確認されなかった。このため、平成22年度の個人住宅の柱状改良工事については、重要遺跡と位置付けている範囲を除いて確認調査を実施せず、慎重工事で対応することとした。

なお、平成22年度の調査で出土した遺物、作成した図面、写真については太田市教育委員会で保管している。

## 第3章 遺跡の位置と歴史的環境

太田市は北部に八王子丘陵がひかえ、その南方に金山がそびえ立っている。山頂からは、市内全域を望むことができる。八王子丘陵西側の藪塚地域には大間々扇状地が広がり、扇状地の端部に位置する新田地域からは湧水が流れ出し、古代より生活の水脈として利用されている。中央部には高大な平地が広がり、水田地帯を形成している。利根川と面する南西部の尾島地域は、旧利根川の流路にあたる部分であり、榛名山二ツ岳の噴火による洪水堆積層に遺跡が覆われている。

平成17年度に合併する以前の旧1市3町の範囲は、太田地域、新田地域、尾島地域、藪塚地域の4区域に分けられる。各地区の遺跡数の合計を見ると、太田市全体としては965の遺跡が所在しており、これらを時代ごとに分けると、古墳時代が圧倒的に多く、ついで奈良・平安時代、中世、縄文時代、近世、弥生時代、旧石器時代となっている。

以下、今回確認調査を実施した遺跡について次頁の地図及び一覧表にまとめた。



# 太田市全図



## 平成22年度調査地

- |             |             |            |              |           |
|-------------|-------------|------------|--------------|-----------|
| 1 鎧着遺跡      | 8 向野遺跡      | 15 新田館跡    | 22 FP 泥流下遺跡群 | 29 古戸赤城遺跡 |
| 2 一町田・堀之内遺跡 | 9 細谷東遺跡     | 16 今井地区遺跡群 | 23 細谷東遺跡     | 30 下田島遺跡  |
| 3 細谷東遺跡     | 10 石橋地蔵久保遺跡 | 17 東部地区遺跡群 | 24 鳥ヶ谷戸遺跡    | 31 川久保遺跡  |
| 4 向野遺跡      | 11 猿楽遺跡     | 18 新島遺跡    | 25 石神遺跡      |           |
| 5 反町城館跡     | 12 東部地区遺跡群  | 19 細谷東遺跡   | 26 谷遺跡       |           |
| 6 FP 泥流下遺跡群 | 13 鳥ヶ谷戸遺跡   | 20 反町城館跡   | 27 塚廻り古墳群    |           |
| 7 東矢島遺跡     | 14 下田島遺跡    | 21 石田川遺跡   | 28 浜町古墳群     |           |

平成22年度 調査地一覧表

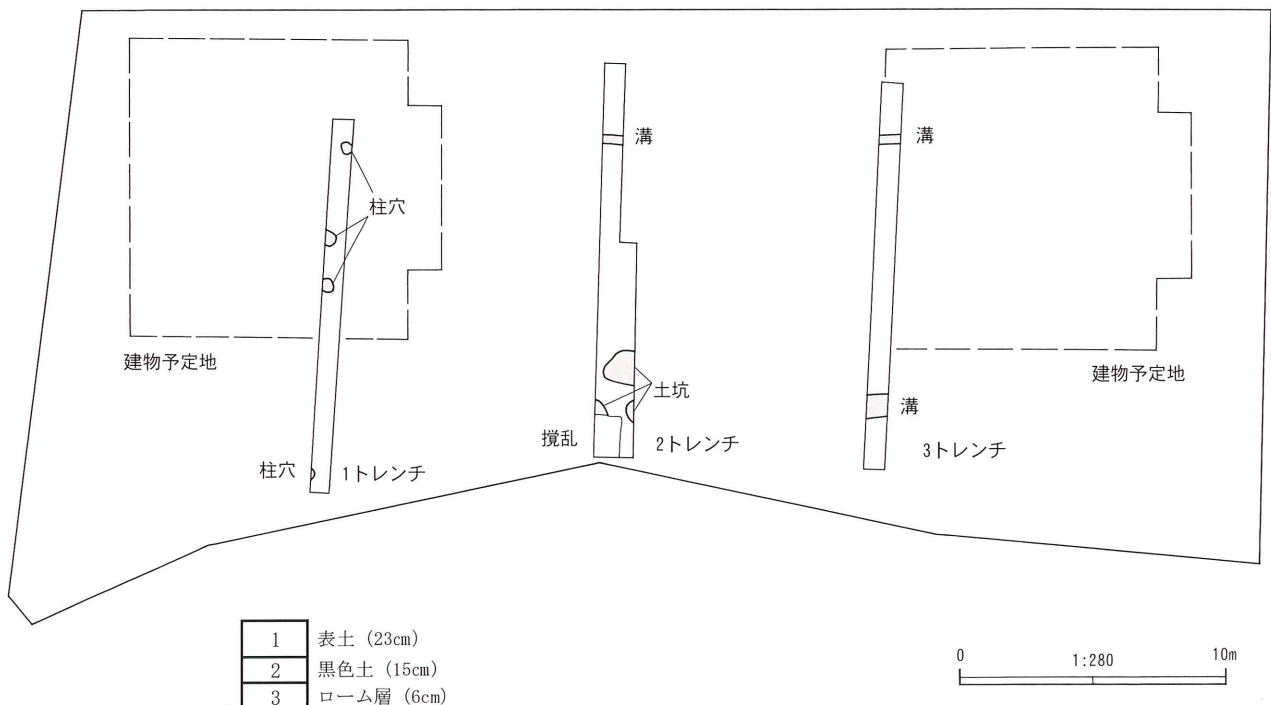
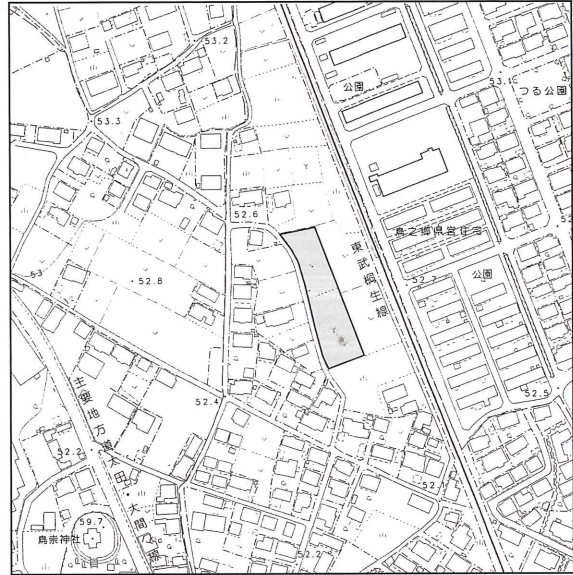
No.	所在地	遺跡名	開発原因	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期間	調査結果	取り扱い方法	台帳 No.	ひまわり No.
1	鳥山下町960-2	鍔着遺跡	集合住宅	922.00	52.50	22.4.15	溝2条、土坑3基、柱穴4本	現状保存	34	5547
2	新田赤堀町1-5	一町田・堀之内遺跡	個人住宅	543.29	13.40	22.4.19	遺構・遺物なし（沖積地）		10	5500
3	細谷町1435-8、1435-9	細谷東遺跡	個人住宅	380.00	40.10	22.4.19	古墳1基、溝1条	現状保存	32	5545
4	古戸町1144-1	向野遺跡	宅地造成	1909.00	41.40	22.4.20	住居跡1軒、井戸1基、奈良時代の土器コンテナ1/2	現状保存	39	5552
5	新田反町町630-2他	反町城館跡	個人住宅	340.00	22.60	22.4.26	溝4条、柱穴12本	現状保存	60	5590
6	尾島町261-1	FP泥流下遺跡群	鉄塔	201.61	15.00	22.5.21	土坑1基、土師器甕1個体	現状保存	20	5521
7	末広町571-10、571-13	東矢島遺跡	個人住宅	299.20	11.00	22.5.21	溝1条	現状保存	117	5694
8	高林東町1372	向野遺跡	南小体育館	1263.78	133.00	22.5.25～27	遺構・遺物なし		44	5559
9	細谷町1477-2	細谷東遺跡	集合住宅	1105.02	69.00	22.6.10	埴輪片2点		74	5612
10	石橋町835-1	石橋地蔵久保遺跡	宅地造成	1213.84	43.00	22.6.15	溝1条、土器片5点	現状保存	21	5522
11	只上町970-1	猿楽遺跡	毛里田小体育館	28788.00	106.00	22.6.21～22	遺構・遺物なし		2	5490
12	堀口町273-4他14筆	東部地区遺跡群	区画整理	1403.70	43.00	22.6.17	住居跡2軒（平安時代）、土坑6基、ヒット2基、灰釉陶器片1個	記録保存	75	5613
13	鳥山中町815-1他	鳥ヶ谷戸遺跡	宅地造成	3881.00	198.00	22.6.21～22	土器片5点		110	5676
14	下田島町1011-1他	下田島遺跡	工場増設	1325.00	62.00	22.7.6	かわらけコンテナ1/10ケース		148	5756
15	世良田町866-12、868-2	新田館跡	個人住宅	304.47	13.00	22.6.28	堀1条、土坑2基、柱穴4本、かわらけ1点	現状保存	176	5793
16	世良田町3178-12	今井地区遺跡群	個人住宅	224.95	15.00	22.6.28	遺構・遺物なし		202	5854
17	岩松町273-6他5筆	東部地区遺跡群	区画整理	402.20	17.00	22.7.7	遺構・遺物なし		231	5923
18	只上町1329-1	新島遺跡	個人住宅	717.35	15.00	22.9.2	遺構・遺物なし		81	5623
19	細谷町1473-3、1477-5	細谷東遺跡	集合住宅	706.00	25.00	22.10.29	土坑1基、溝5条、土器片1点	現状保存	301	6055
20	新田反町町538-1	反町城館跡	個人住宅	558.67	14.00	22.10.18	土坑1基	現状保存	296	6049
21	米沢町231-1、2	石田川遺跡	グループホーム	1036.00	98.00	22.9.3	土坑2基、溝1条	現状保存	300	6054
22	世良田町1117-1	FP泥流下遺跡群	携帯電話基地局	179.82	9.00	22.9.27	溝1条	現状保存	234	5929
23	細谷町1476-1	細谷東遺跡	個人住宅	415.00	32.80	22.9.22	溝1条、近世磁器片1点	現状保存	342	6129
24	鳥山中町843-1	鳥ヶ谷戸遺跡	宅地造成	5803.45	179.00	22.9.21～22	遺構・遺物なし		206	5867
25	龍舞町756-3	石神遺跡	個人住宅	331.00	17.00	22.9.30	遺構・遺物なし		392	6233
26	藪塚町3192-3	谷遺跡	倉庫及び休憩所	720.89	21.00	22.10.6	遺構・遺物なし		186	5821
27	龍舞町地先	塚廻り古墳群	農業用水路改修工事	2600.00	86.00	22.10.26～28	古墳の周溝2～3基、古墳時代の土器片数点	記録保存	218	5897
28	浜町8-15、16、17、18、	浜町古墳群	区画整理	300.00	22.00	22.11.4	遺構・遺物なし		462	6358
29	古戸町957-1、962-2	古戸赤城遺跡	グループホーム	978.12	50.00	22.11.12	古墳の周溝、住居跡、土坑、柱穴4本、埴輪片	現状保存	371	6175
30	下田島町1018-1、1067、1030	下田島遺跡	区画整理	663.50	55.00	22.11.8～9	土器、石器片 数点		106	5670
31	新田下田中町地内	川久保遺跡	工業団地	75000.00	2221.00	23.2～3月	住居跡4軒、土坑2基、柱穴4本、溝8条、土器片コンテナ1/4ケース	記録保存	588	6635



## 第4章 確認調査の結果

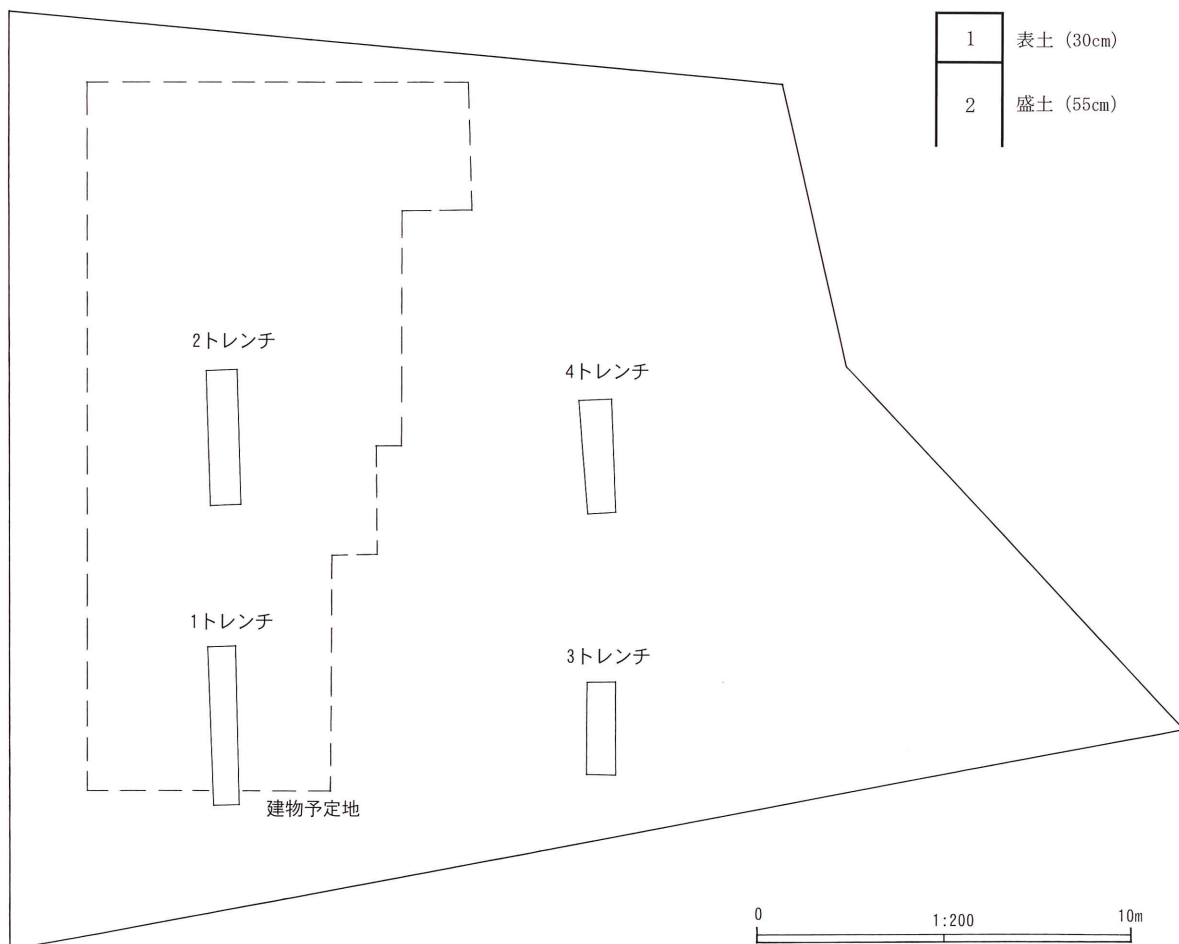
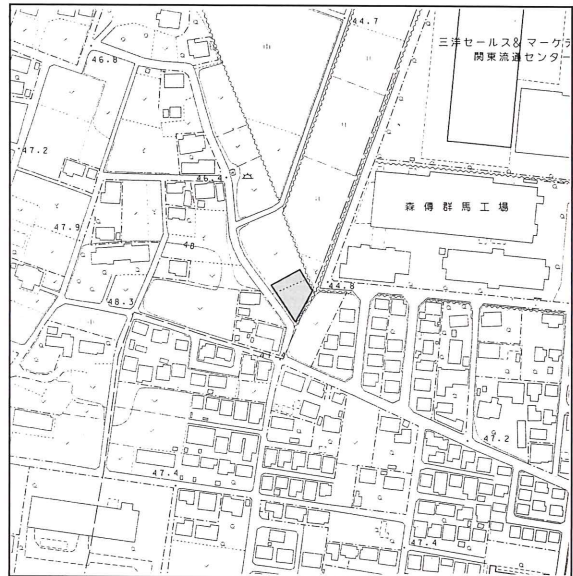
### 1. 鎧着遺跡 (台帳H22No.34)

- ① 所在地 太田市鳥山下町960-2
- ② 調査面積 52.5㎡ (対象面積922㎡)
- ③ 調査原因 集合住宅
- ④ 調査期間 平成22年4月15日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は溝2条、土坑3基、柱穴4本が確認された。遺物は出土しなかった。
- ⑦ 取扱い方法 遺構は近世以降と考えられるため、発掘調査の必要はないと判断される。



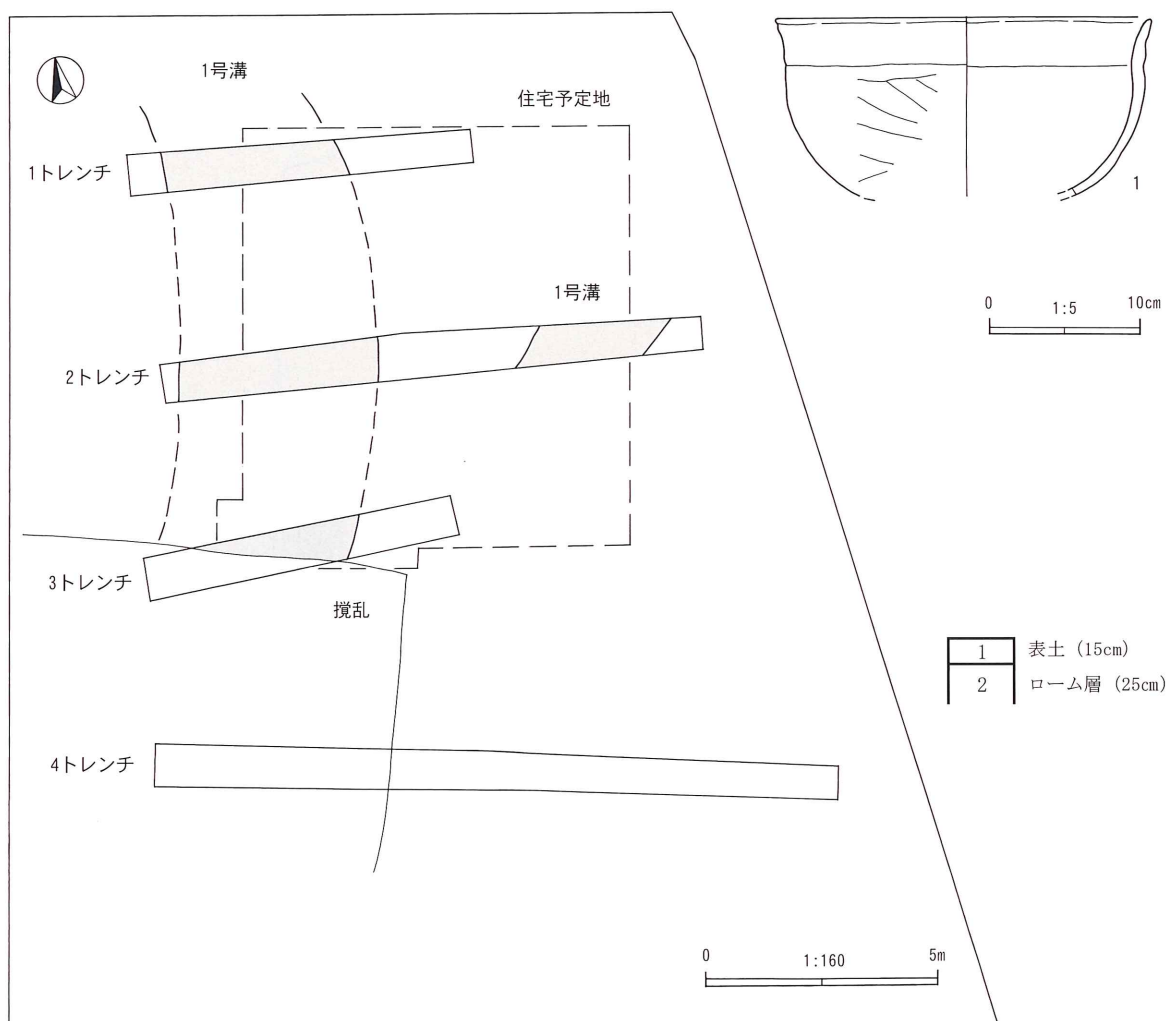
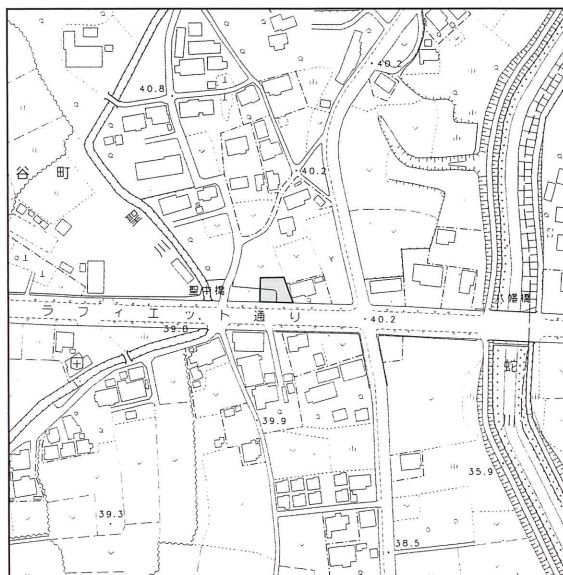
## 2. 一町田・堀之内遺跡（台帳H22No.10）

- ① 所在地 太田市新田赤堀町1-5
- ② 調査面積 13.4㎡（対象面積543.29㎡）
- ③ 調査原因 個人住宅
- ④ 調査期間 平成22年4月19日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に4本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 対象地は沖積地で、遺構・遺物は確認されなかった。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



### 3. 細谷東遺跡 (台帳H22No.32)

- ① 所在地 太田市細谷町1435-8、1435-9
- ② 調査面積 40.1㎡ (対象面積380㎡)
- ③ 調査原因 個人住宅
- ④ 調査期間 平成22年4月19日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に4本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 古墳の周溝と推定される遺構が1箇所、溝1条が確認された。遺物は土師器甕破片1点が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。

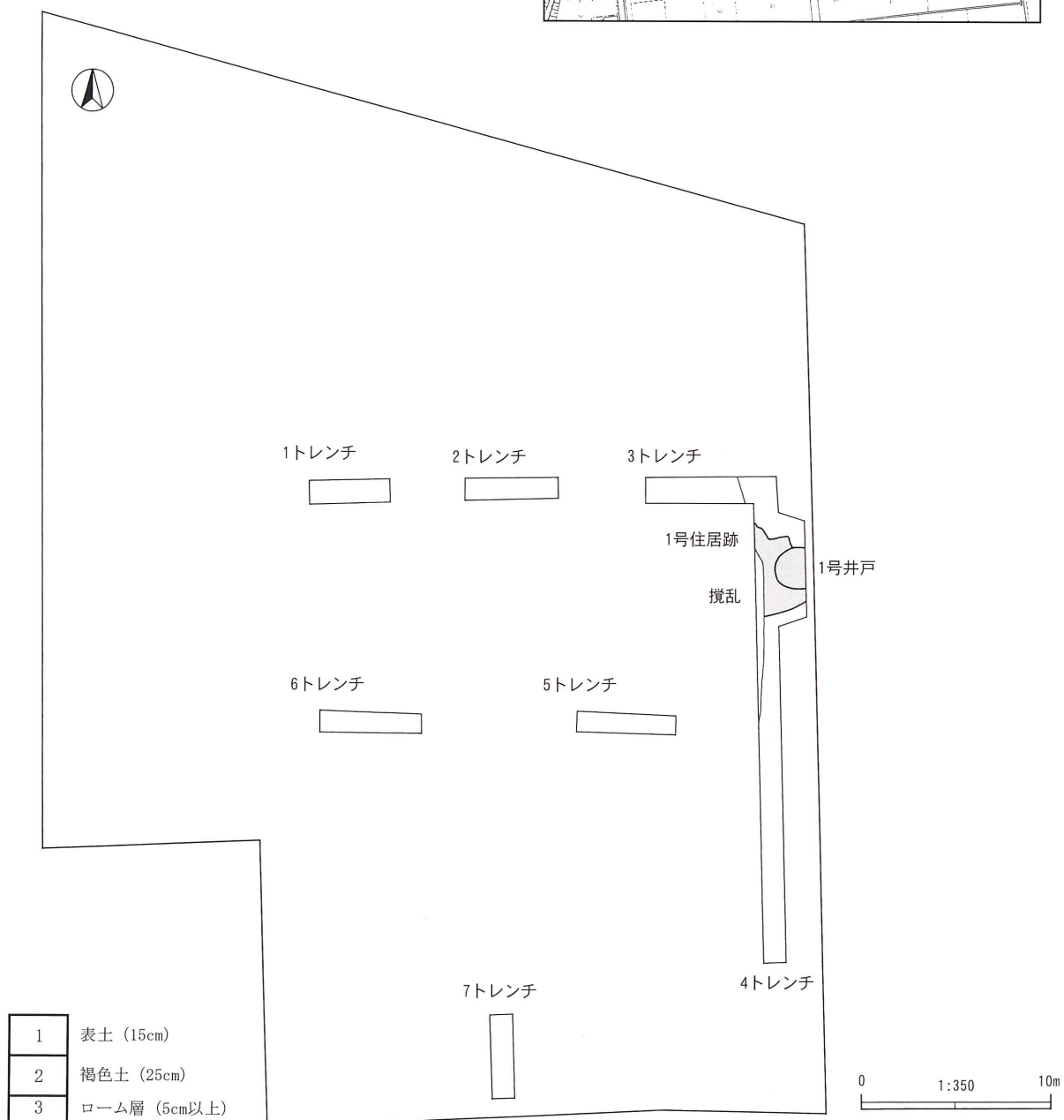


細谷東遺跡遺物観察表

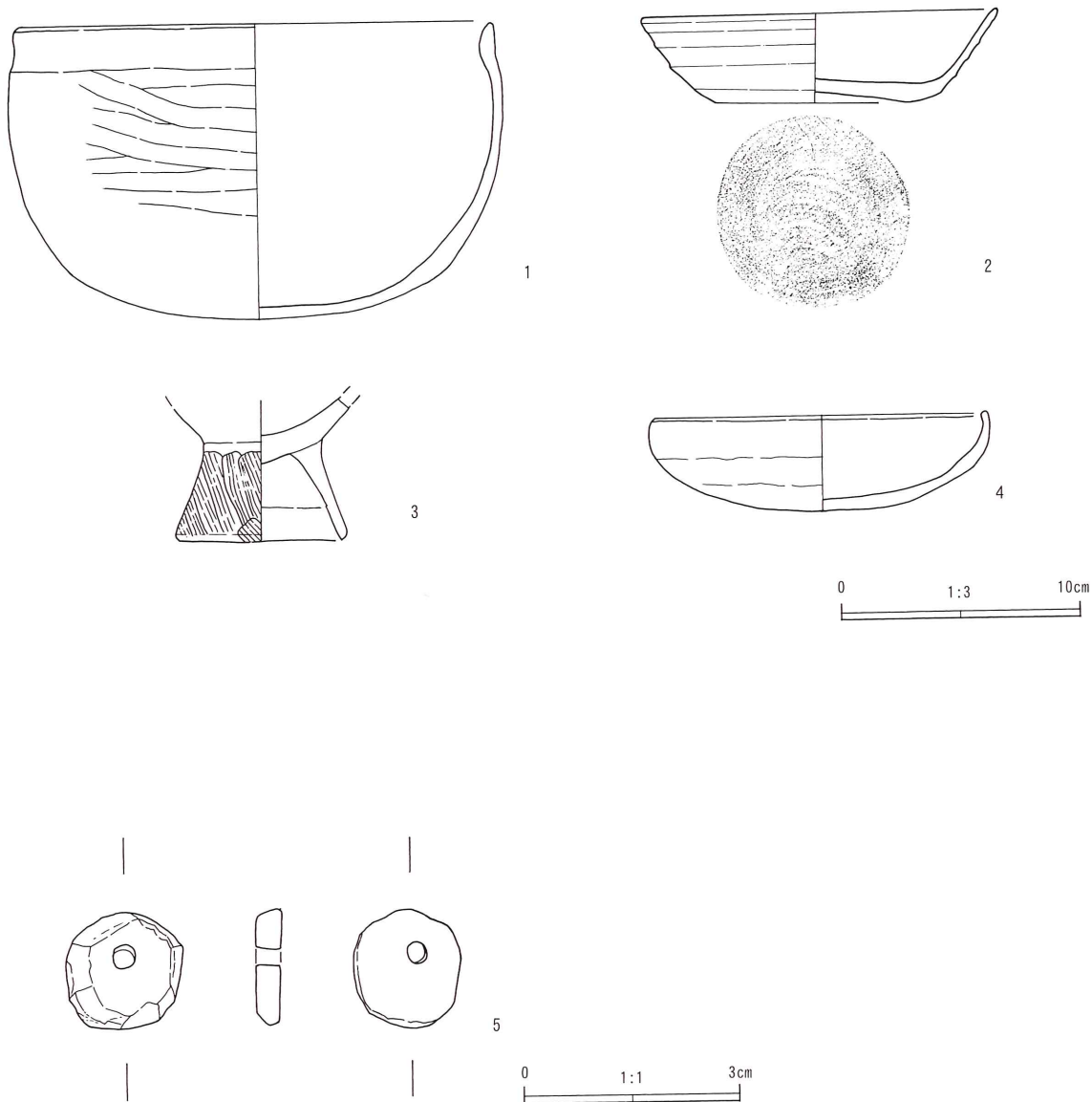
番号	種類	出土位置	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器 甕	2トレンチ	1/8	(24.8)・—・—	細砂粒	良好	うす橙	胴部外面ヘラ削り

#### 4. 向野遺跡 (台帳H22No.39)

- ① 所在地 太田市古戸町1144-1
- ② 調査面積 41.4㎡ (対象面積1,909㎡)
- ③ 調査原因 宅地造成
- ④ 調査期間 平成22年4月20日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に7本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 ほぼ全面が攪乱されていたが、対象地の東端のみ地山が検出され、この部分で、住居跡1軒、井戸1基が確認された。遺物は住居跡から奈良時代の土器3点、古墳時代の台付き甕1点、滑石製模造品1点が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。







向野遺跡遺物観察表

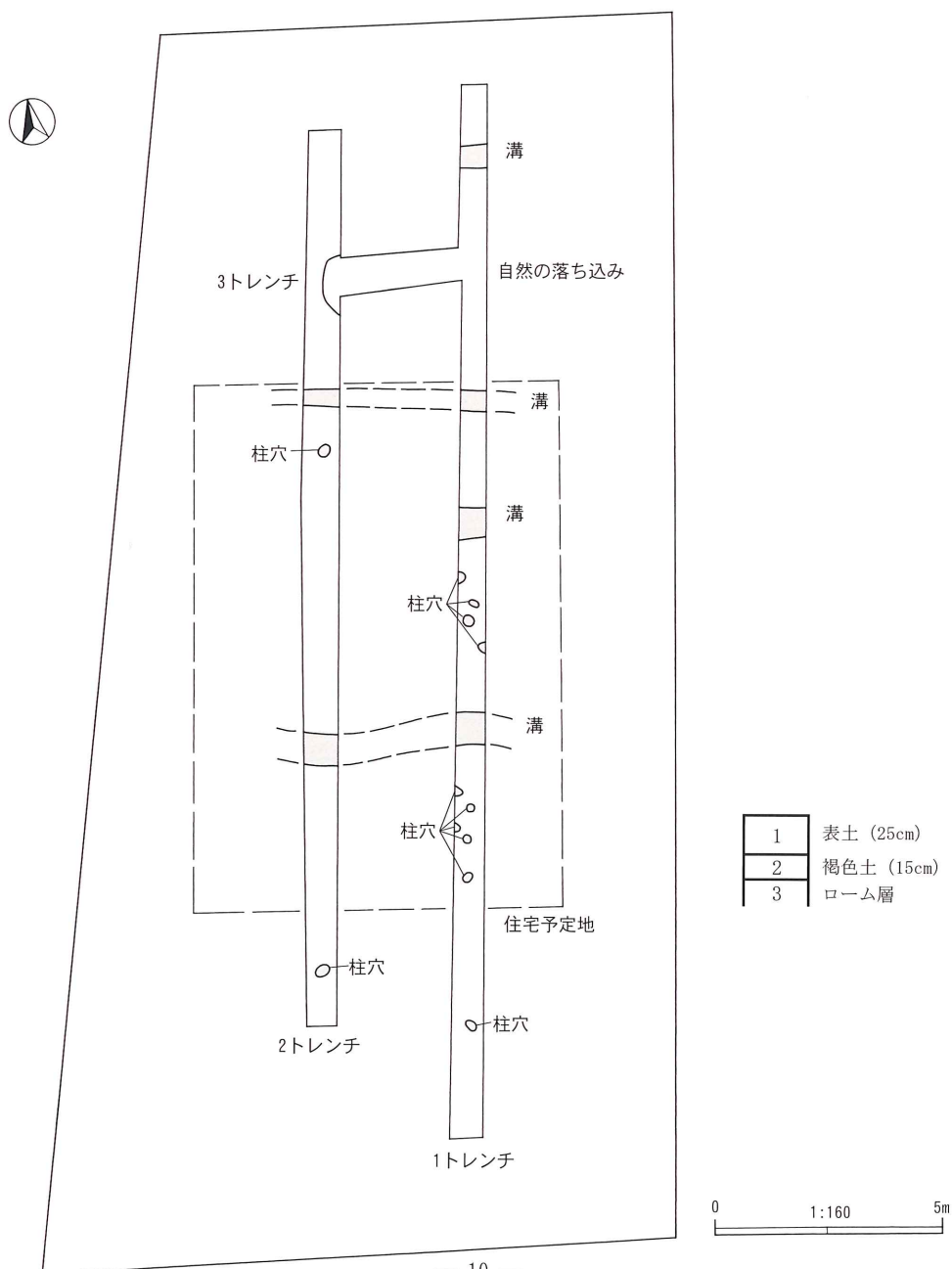
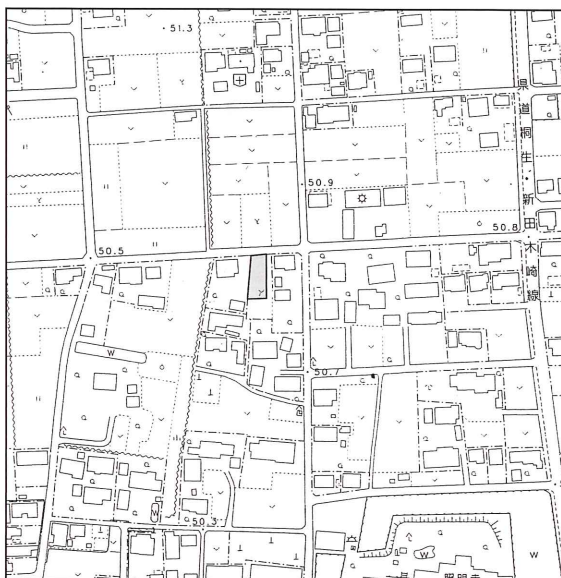
番号	器 種 類	出土位置	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器 碗	1 住	1/2	(19.6) ・ (3.0) ・ 12.0	中砂粒	やや良好	にぶい 橙	台部外面刷毛目
2	須恵器 坏	1 住	3/4	14.6 ・ 8.0 ・ 3.5	細砂粒	良好	うす橙	体部外面へラ削り
3	土師器 台坏	1 住	台部	— ・ 7.0 ・ —	細砂粒	良好	にぶい 橙	体部外面へラ削り
4	土師器 坏	1 住	3/4	13.8 ・ — ・ 3.9	白色粒	良好	灰	底部回転糸切り後周縁部へラ削り

向野遺跡遺物計測表

番号	器 種	計 測 値 (mm)			石 質 等
		最大長	最大幅	最大厚	
5	石製模造品	16.0	14.0	3.5	滑石製玉

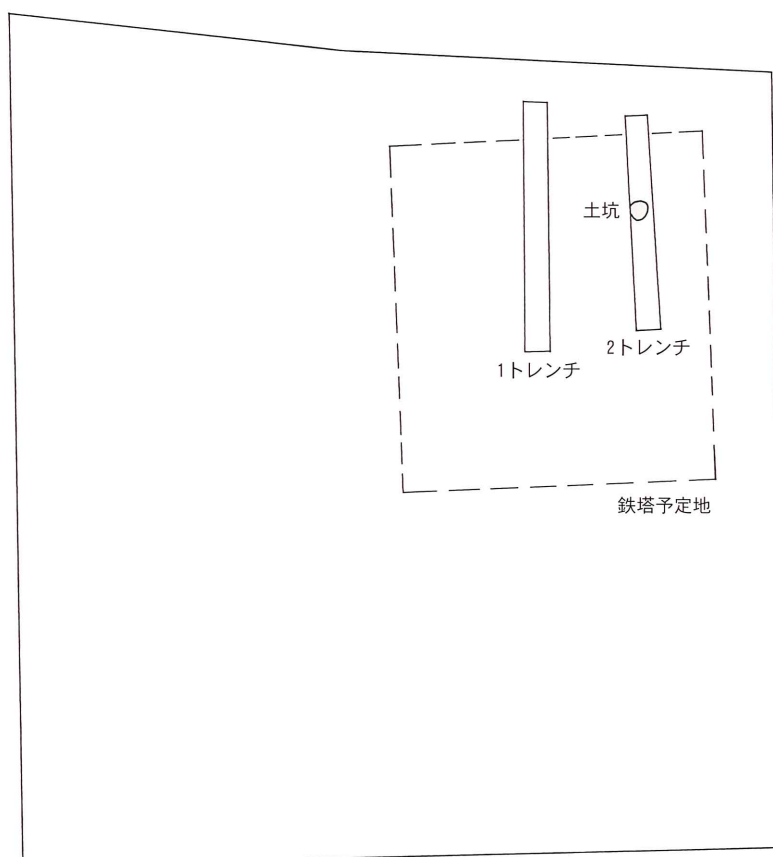
## 5. 反町城館跡 (台帳H22No.60)

- ① 所在地 太田市新田反町町630-2他
- ② 調査面積 22.6㎡ (対象面積340㎡)
- ③ 調査原因 個人住宅
- ④ 調査期間 平成22年4月26日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は溝4条、柱穴12本が確認された。遺物は出土しなかった。
- ⑦ 取扱い方法 遺構は、近世以降と考えられるため、発掘調査の必要はないと判断される。

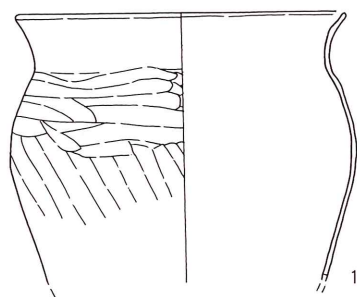


## 6. FP 泥流下遺跡群 (台帳H22No.20)

- ① 所在地 太田市尾島町261-1
- ② 調査面積 15㎡ (対象面積201.61㎡)
- ③ 調査原因 鉄塔
- ④ 調査期間 平成22年5月21日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は土坑1基が確認され、ここから土師器甕1個体が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 掘削を伴わない工事のため、本調査の必要はないと判断される。



1	表土 (20cm)
2	黒褐色土 (20cm)
3	褐色土 (30cm)
4	褐色土



0 1:250 10m

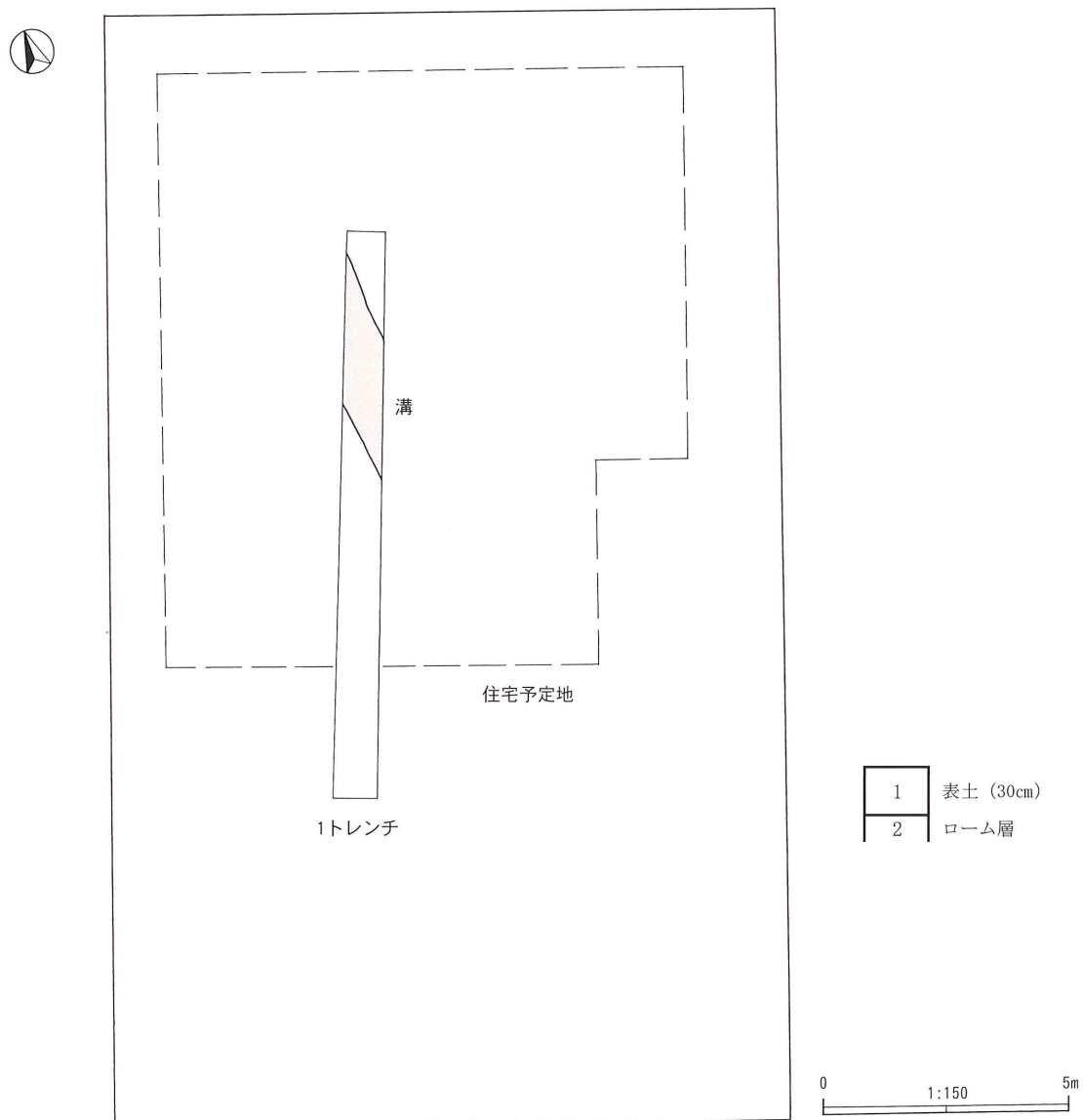
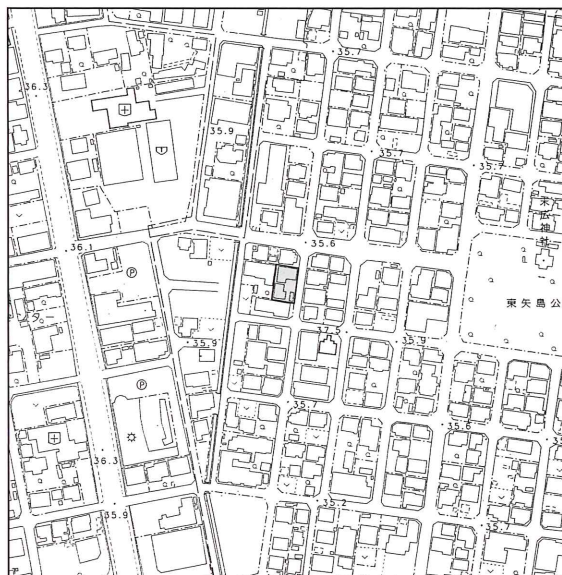
0 1:5 10cm

F P 泥流下遺跡群遺物観察表

番号	種類	出土位置	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形状の特徴
1	土師器甕	1土坑	上部1/2	21.8 ・ — ・ —	細砂粒	良好	にぶい橙	体部外面ヘラ削り

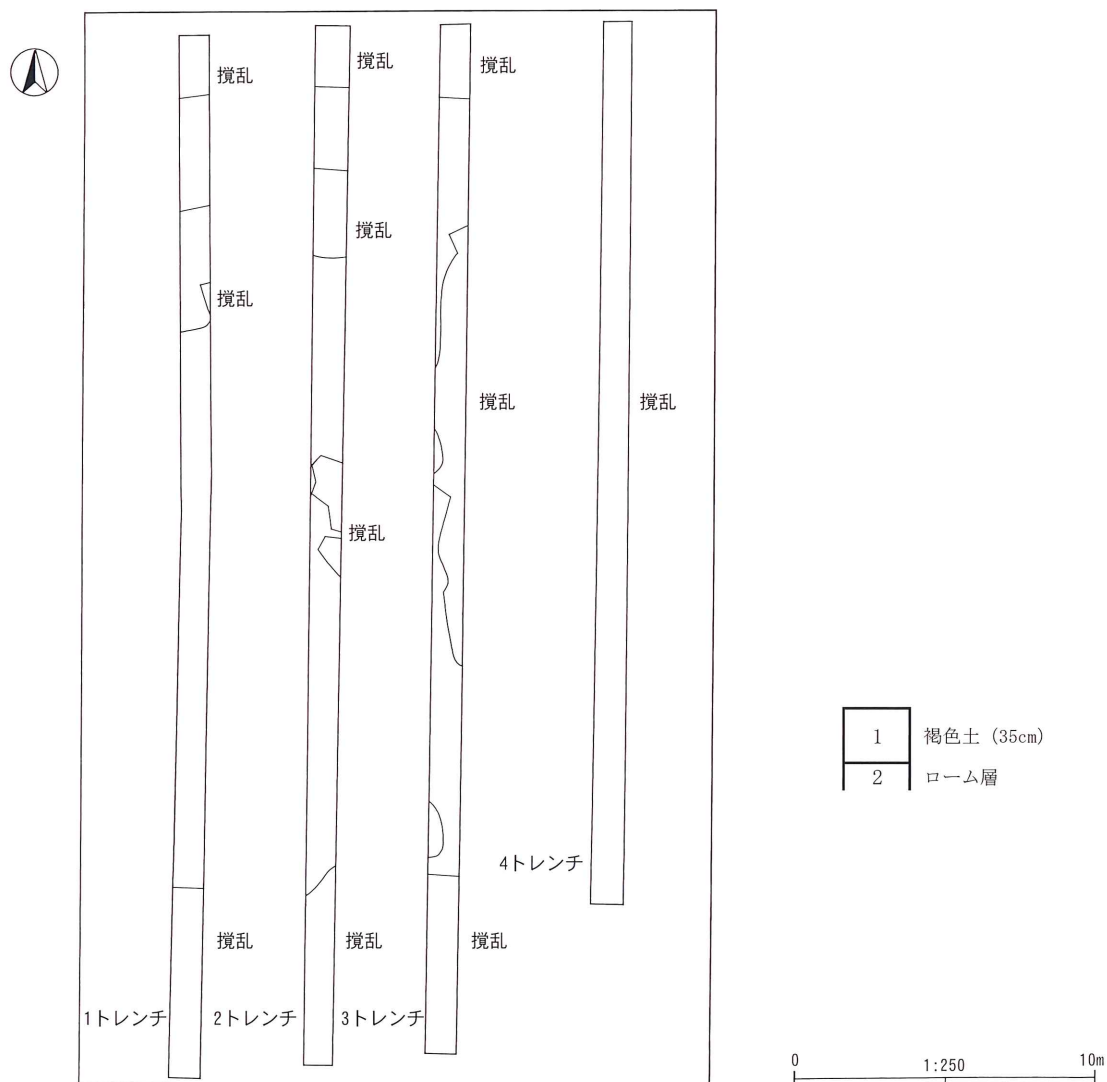
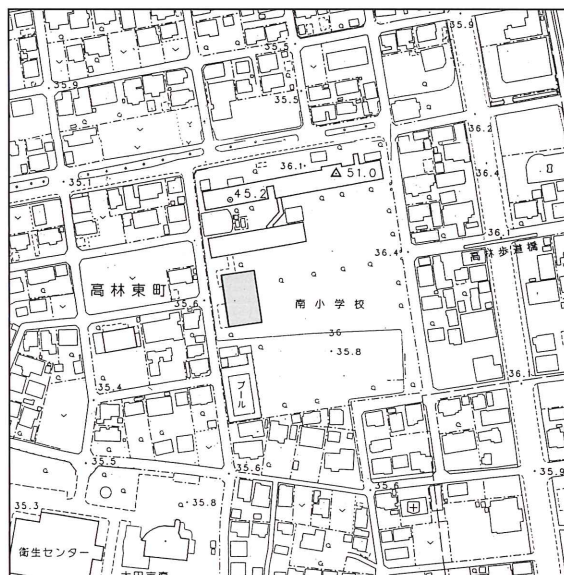
## 7. 東矢島遺跡 (台帳H22No.117)

- ① 所在地 太田市末広町571-10、571-13
- ② 調査面積 11㎡ (対象面積299.2㎡)
- ③ 調査原因 個人住宅
- ④ 調査期間 平成22年5月21日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に1本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は時期が明らかな溝1条が確認された。遺物は出土しなかった。
- ⑦ 取扱い方法 現状保存されるため、本調査の必要はないと判断される。



## 8. 向野遺跡 (台帳H22No44)

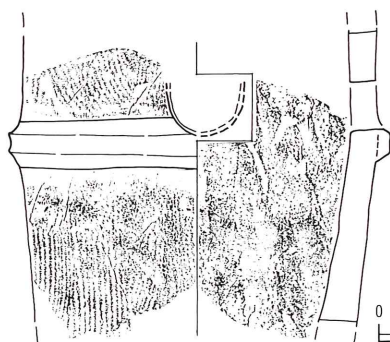
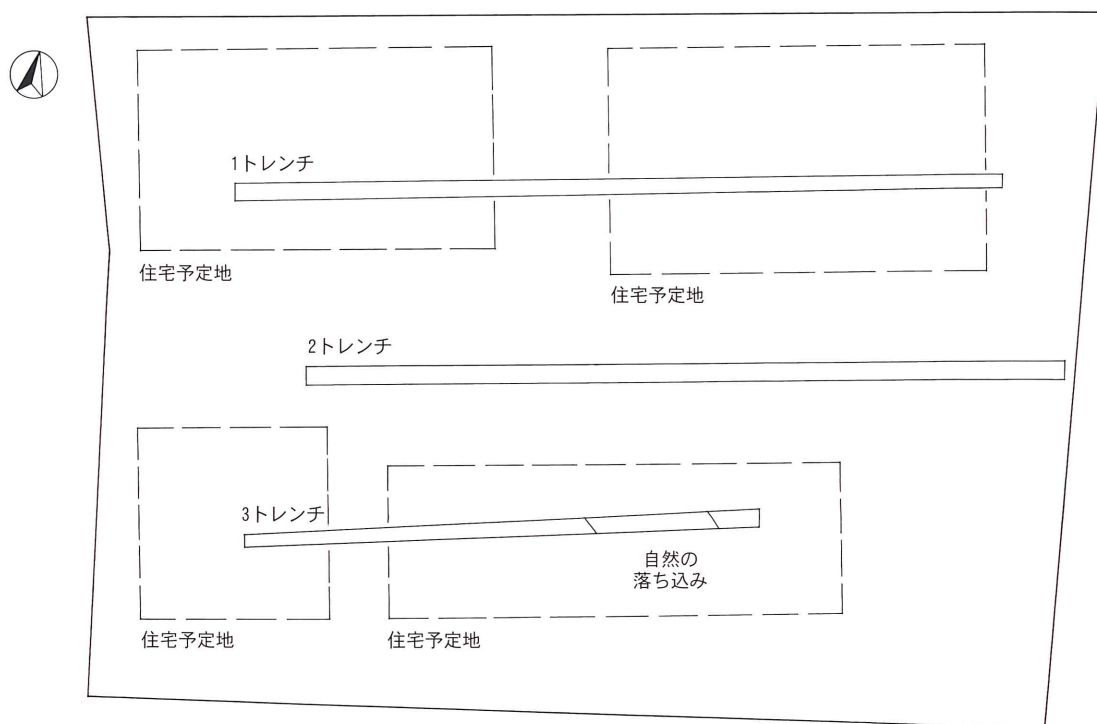
- ① 所在地 太田市高林東町1372
- ② 調査面積 133㎡ (対象面積1,263.78㎡)
- ③ 調査原因 南小体育館
- ④ 調査期間 平成22年5月25～27日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に4本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 ほぼ全面が攪乱されており、遺構・遺物は確認されなかった。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。





## 9. 細谷東遺跡 (台帳H22No.74)

- ① 所在地 太田市細谷町1477-2
- ② 調査面積 69㎡ (対象面積1,105.02㎡)
- ③ 調査原因 集合住宅
- ④ 調査期間 平成22年6月10日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は確認されなかった。遺物は円筒埴輪片1点が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



0 1:300 10m

1	表土 (25cm)
2	褐色土 (25cm)
3	ローム層

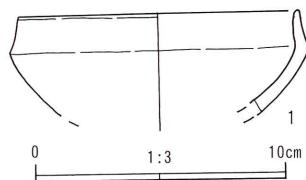
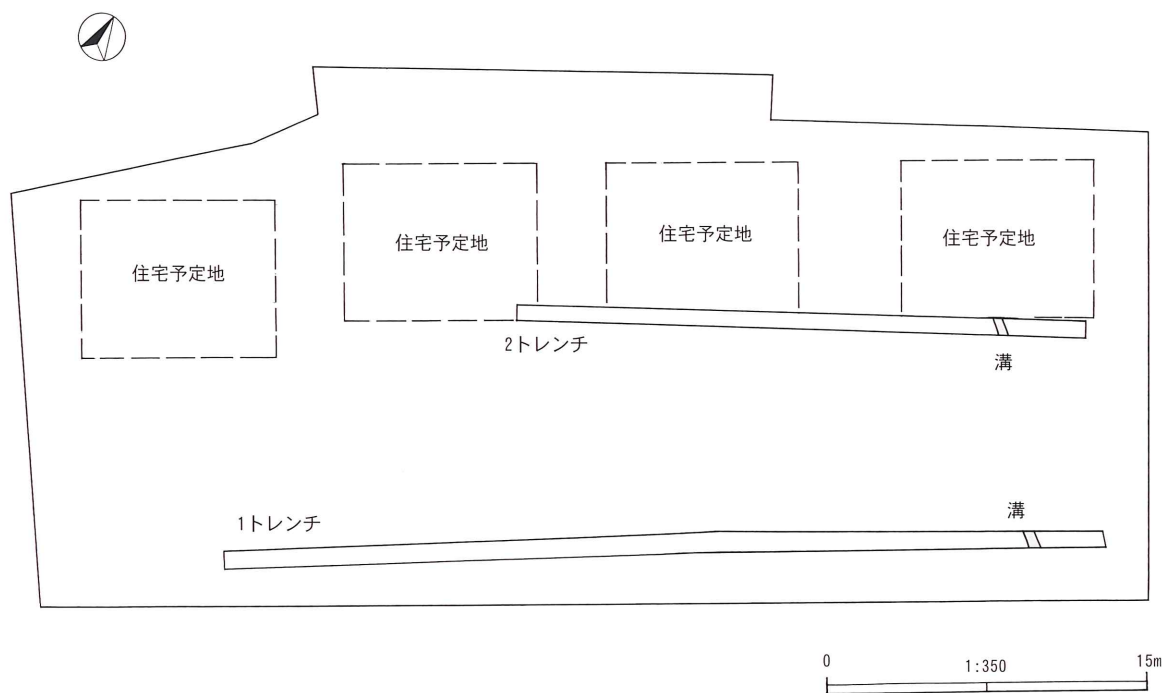
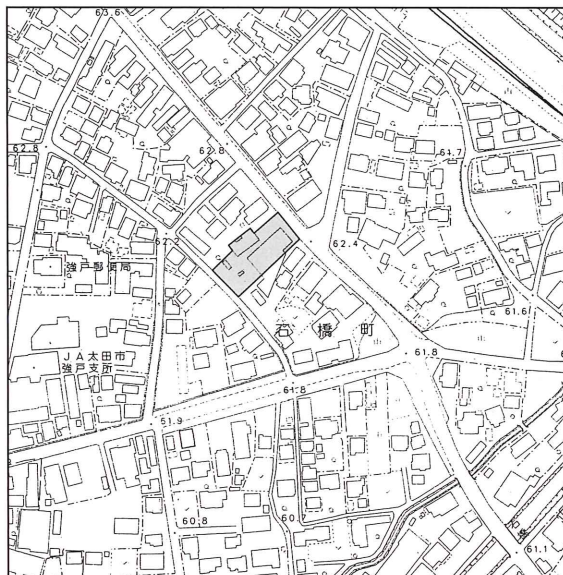
1  
0 1:3 10cm

細谷東遺跡群遺物観察表

番号	種類	出土位置	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	円筒埴輪	3トレンチ	破片	— ・ — ・ —	細砂粒	良好	うすい橙	

# 10. 石橋地蔵久保遺跡（台帳H22No.21）

- ① 所在地 太田市石橋町835-1
- ② 調査面積 43㎡（対象面積1,213.84㎡）
- ③ 調査原因 宅地造成
- ④ 調査期間 平成22年6月15日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は溝1条が確認された。遺物は土器片が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



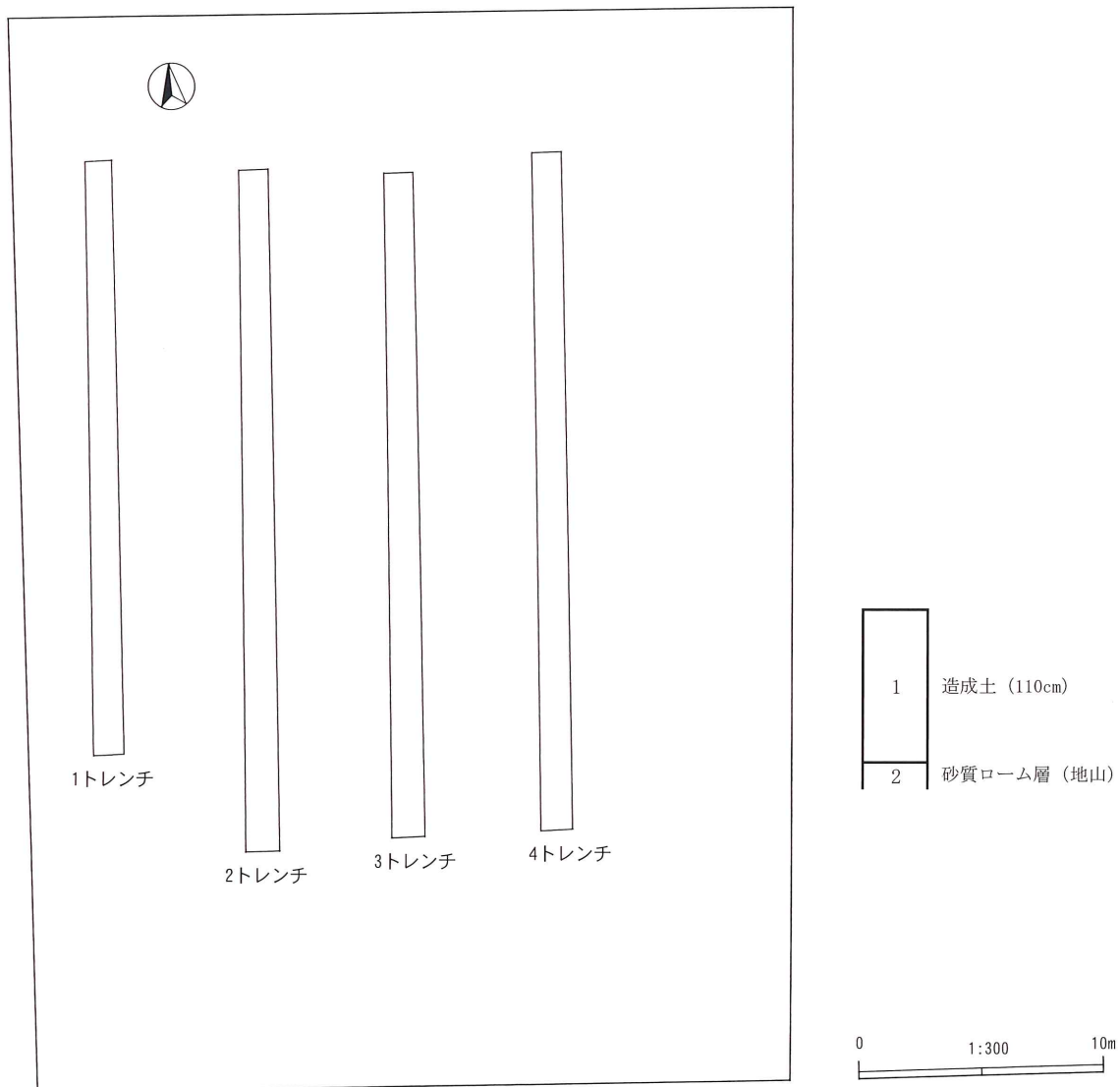
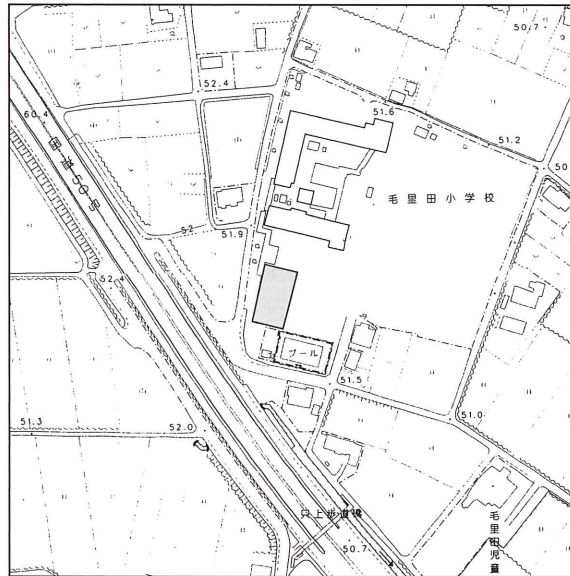
1	表土（20cm）
2	褐色土（25cm）砂を少量含む 粘性しまり弱
3	黒褐色土（15cm）砂を多量に含む 粘性しまり弱
4	ローム層

石橋地蔵久保遺跡遺物観察表

番号	種類	出土位置	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器 坏	1トレンチ	1/4	(11.6) ・ — ・ —	中砂粒	良好	赤褐色	体部外面ヘラ削り

## 11. 猿楽遺跡 (台帳H22No.2)

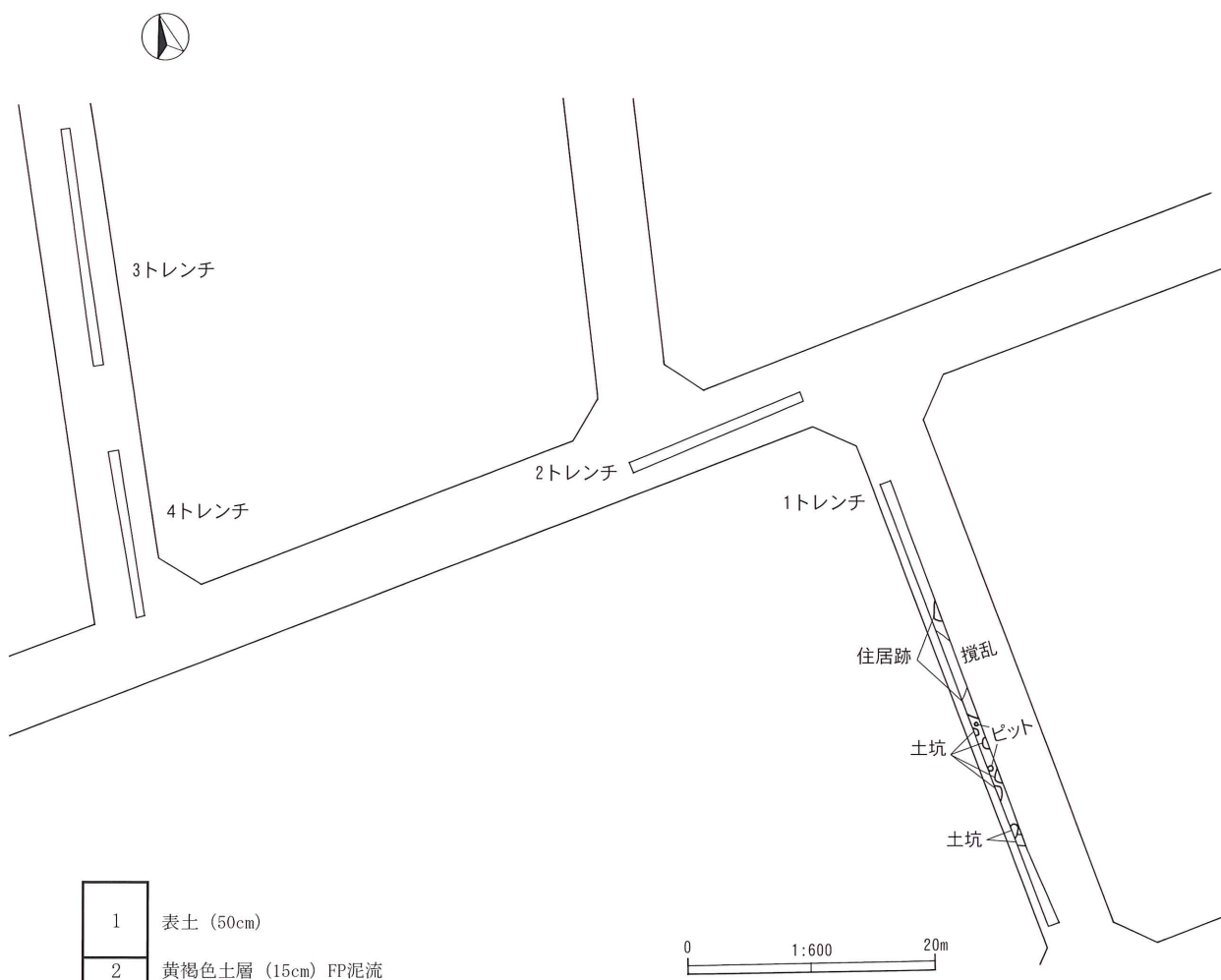
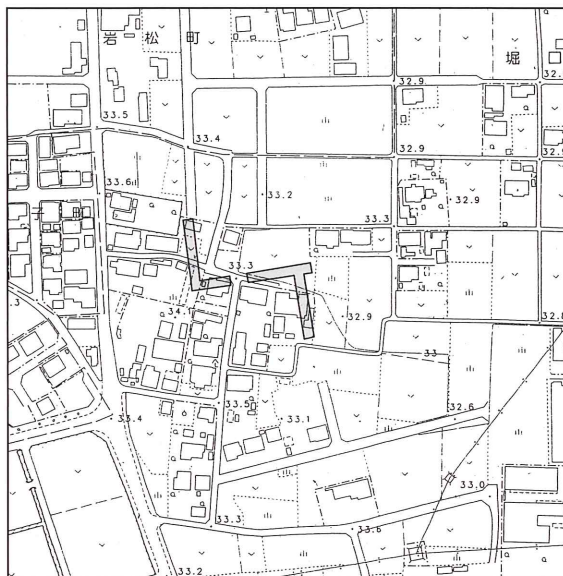
- ① 所在地 太田市只上町970-1
- ② 調査面積 106㎡ (対象面積28,788㎡)
- ③ 調査原因 毛里田小体育館
- ④ 調査期間 平成22年6月21～22日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に4本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構・遺物は確認されなかった。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。





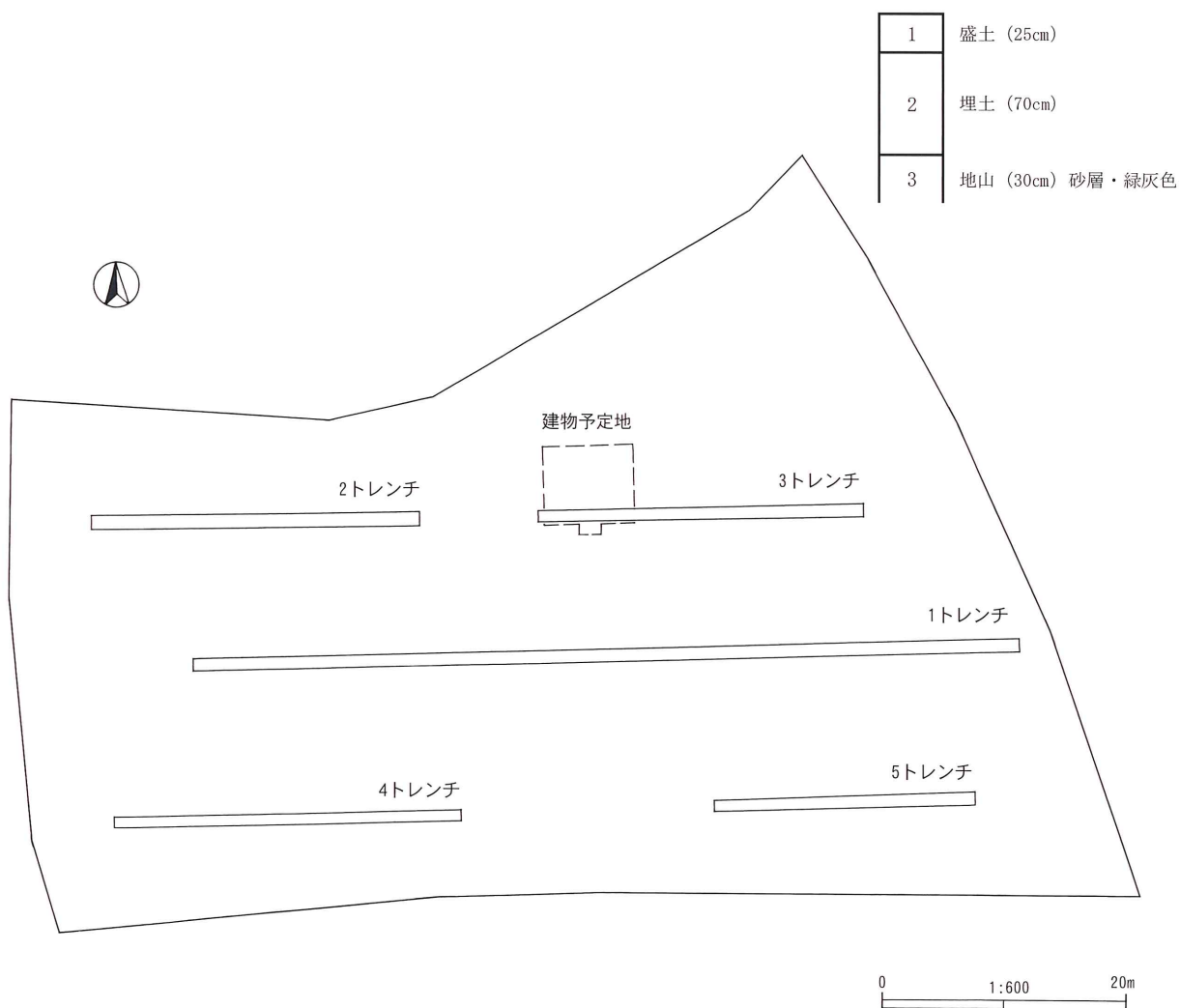
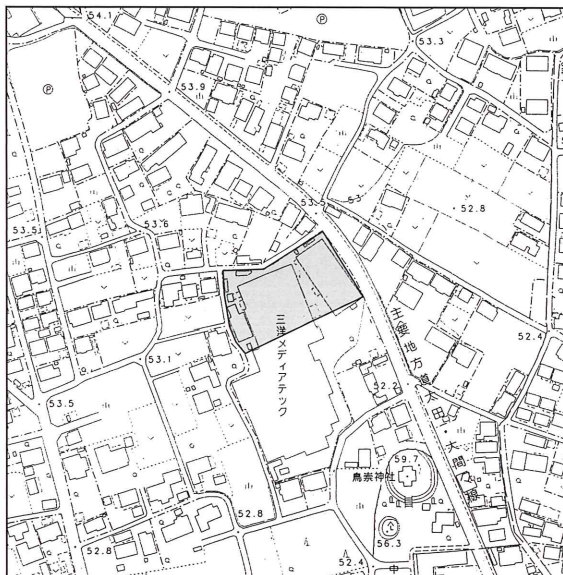
## 12. 東部地区遺跡群（台帳H22No.75）

- ① 所在地 太田市堀口町273-4他14筆
- ② 調査面積 43㎡（対象面積1,403.70㎡）
- ③ 調査原因 区画整理
- ④ 調査期間 平成22年6月17日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に4本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は住居跡2軒（平安時代）、土坑6基。遺物は、ピット2本が確認された。遺物は灰釉陶器片1点が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 道路建設予定地約200㎡については、発掘調査を行う必要があると判断される。



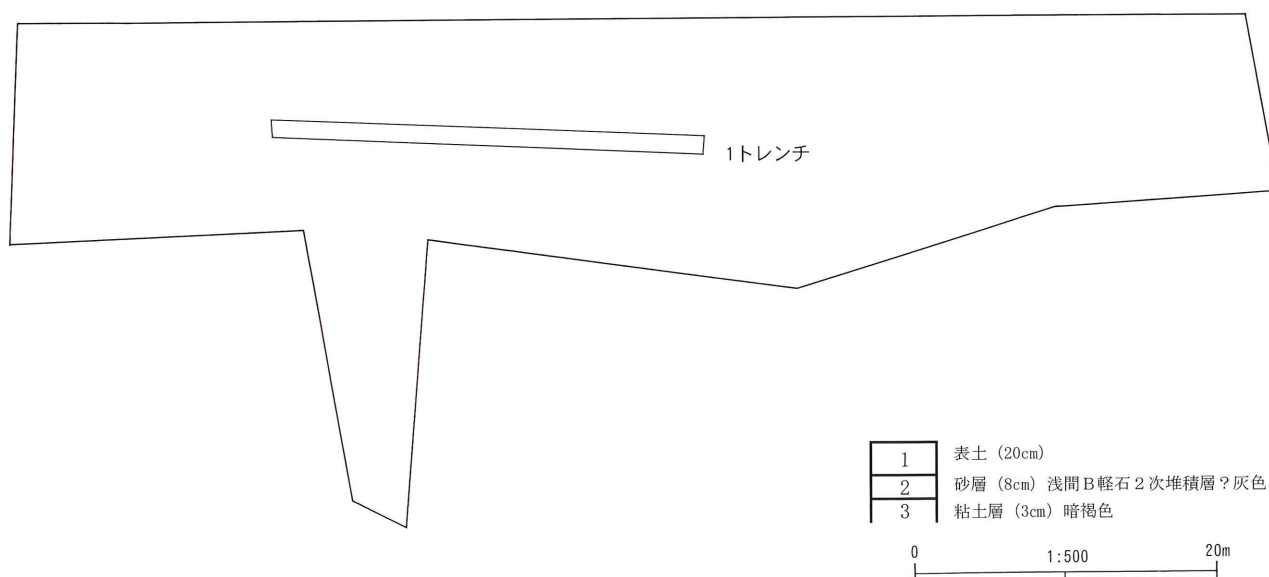
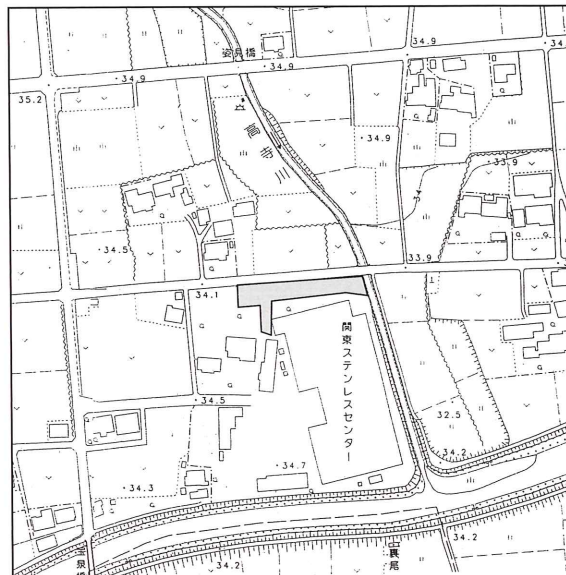
### 13. 鳥ヶ谷戸遺跡（台帳H22No.110）

- ① 所在地 太田市鳥山中町815-1他
- ② 調査面積 198㎡（対象面積3,881㎡）
- ③ 調査原因 宅地造成
- ④ 調査期間 平成22年6月21～22日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に5本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は確認されなかった。遺物は土師器小片5点が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



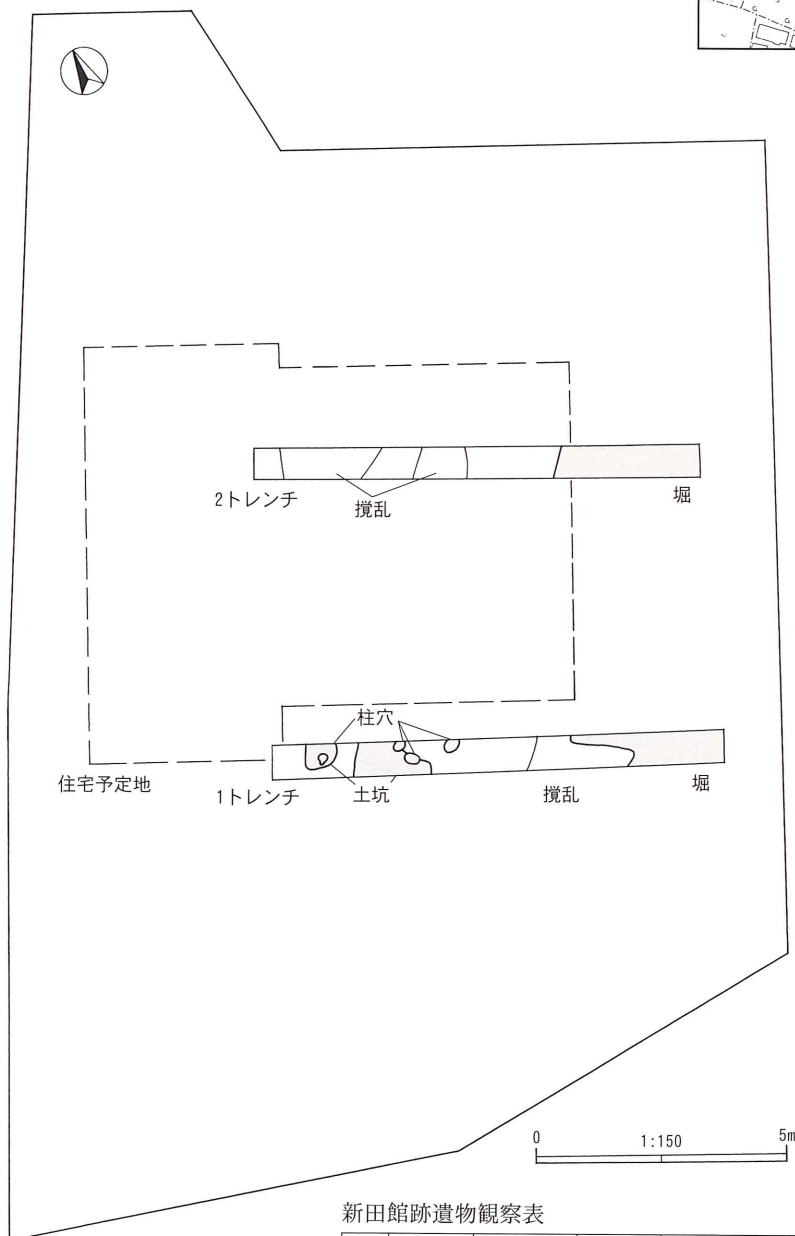
#### 14. 下田島遺跡 (台帳H22No.148)

- ① 所在地 太田市下田島町1011-1他
- ② 調査面積 62㎡ (対象面積1,325㎡)
- ③ 調査原因 工場増設
- ④ 調査期間 平成22年7月6日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に1本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は確認されなかった。遺物はかわらけ数点が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。

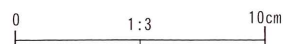
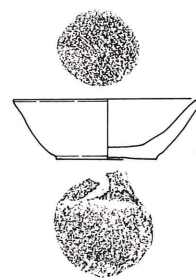


## 15. 新田館跡 (台帳H22No.176)

- ① 所在地 太田市世良田町866-12、868-2
- ② 調査面積 13㎡ (対象面積304.47㎡)
- ③ 調査原因 個人住宅
- ④ 調査期間 平成22年6月28日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は堀1条、土坑2基、柱穴4基が確認された。遺物はかわらけ土器片1点が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 遺構が現状保存される為、本調査の必要はないと判断される。



1	盛土 (20cm)
2	褐色土 (30cm)
3	ローム層 (10cm～)

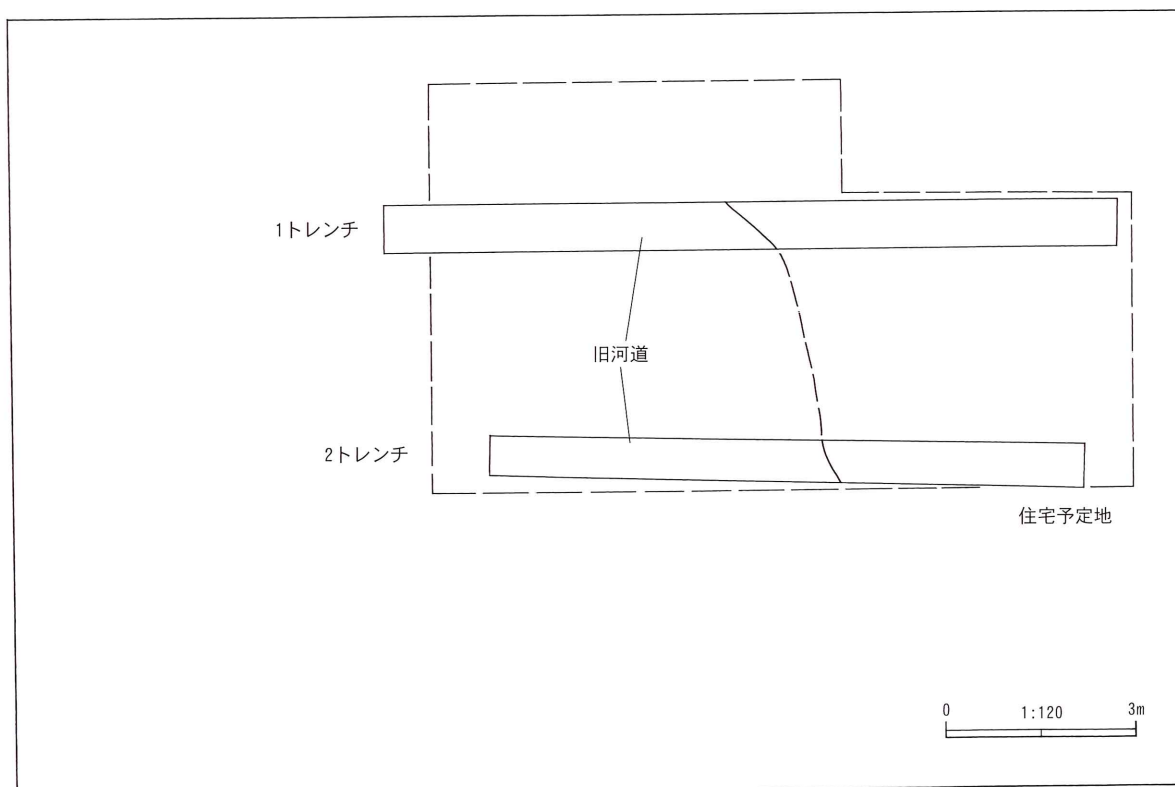
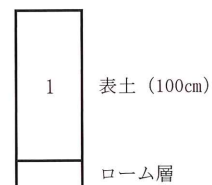
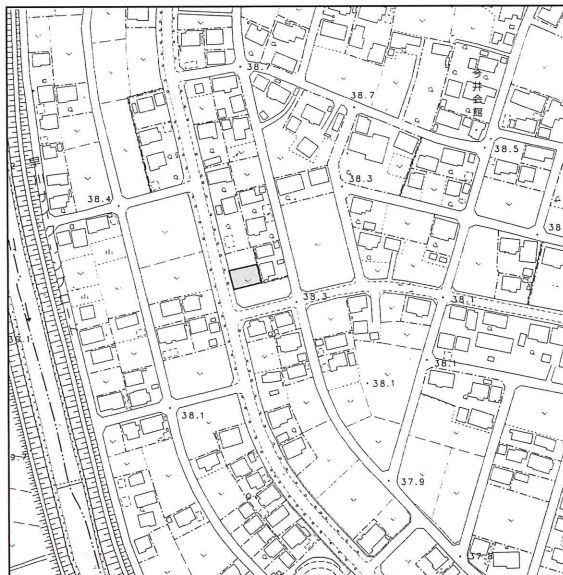


新田館跡遺物観察表

番号	種類	出土位置	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	かわらけ	1トレンチ	1/2	(7.4) ・ (4.0) ・ (2.4)	細砂粒	良好	うす橙	底部外面回転糸切り。内面にスス付着

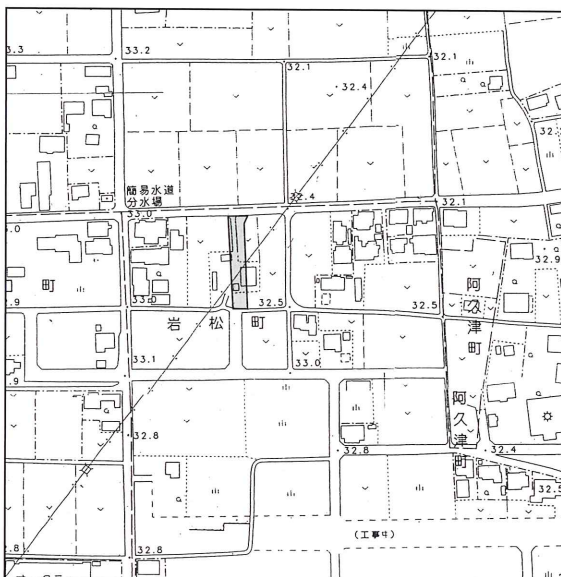
## 16. 今井地区遺跡群（台帳H22No.202）

- ① 所在地 太田市世良田町3178-12
- ② 調査面積 15㎡（対象面積224.95㎡）
- ③ 調査原因 個人住宅
- ④ 調査期間 平成22年6月28日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 旧河道が確認されたが、遺構・遺物は確認されなかった。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



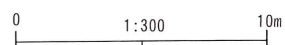


- ① 所在地 太田市岩松町273-6他5筆
- ② 調査面積 17㎡（対象面積約402.2㎡）
- ③ 調査原因 区画整理
- ④ 調査期間 平成22年7月7日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に1本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構・遺物は確認されなかった。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



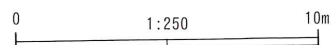
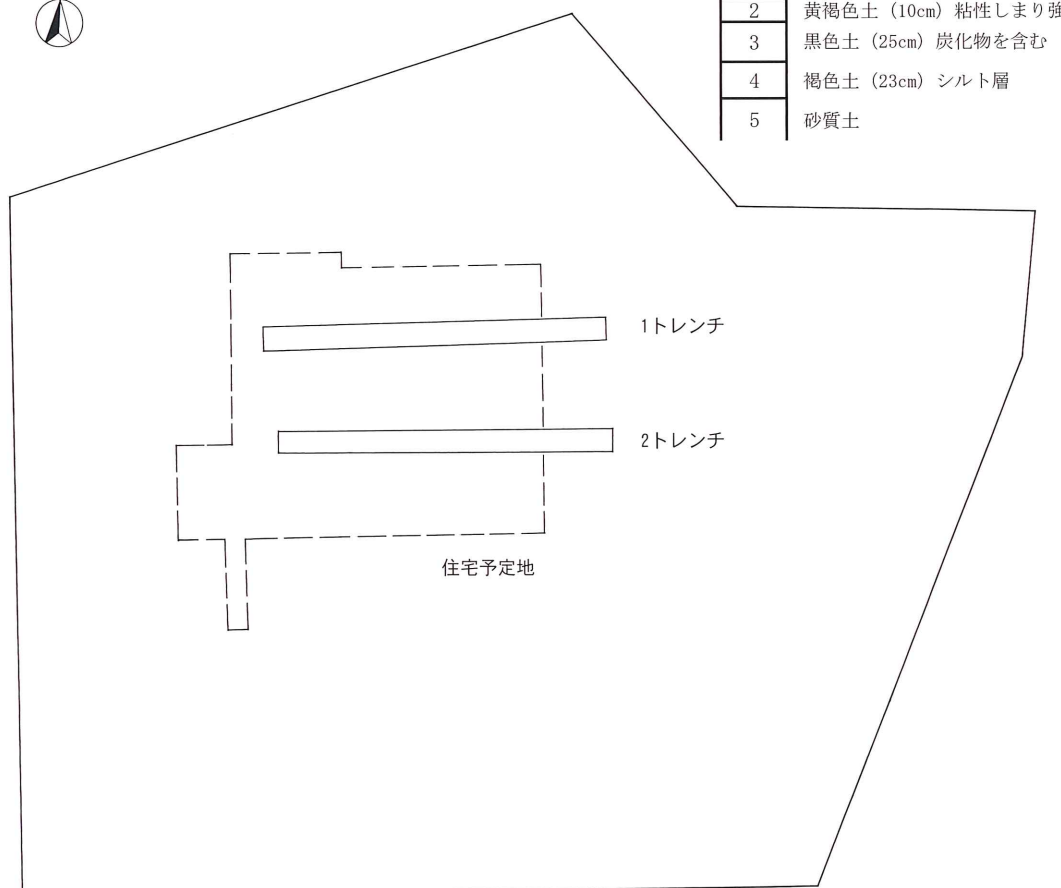
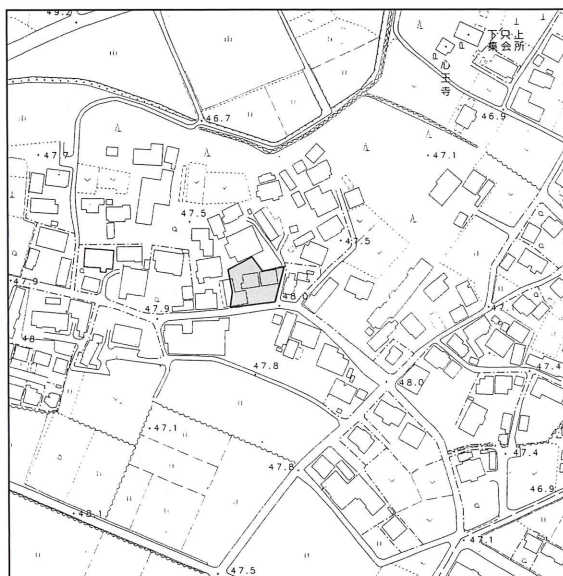
5トレンチ

1	表土 (20cm)
2	黄白褐色シルト層 (20cm) FP泥流
3	白灰色砂層 (15cm) FP泥流



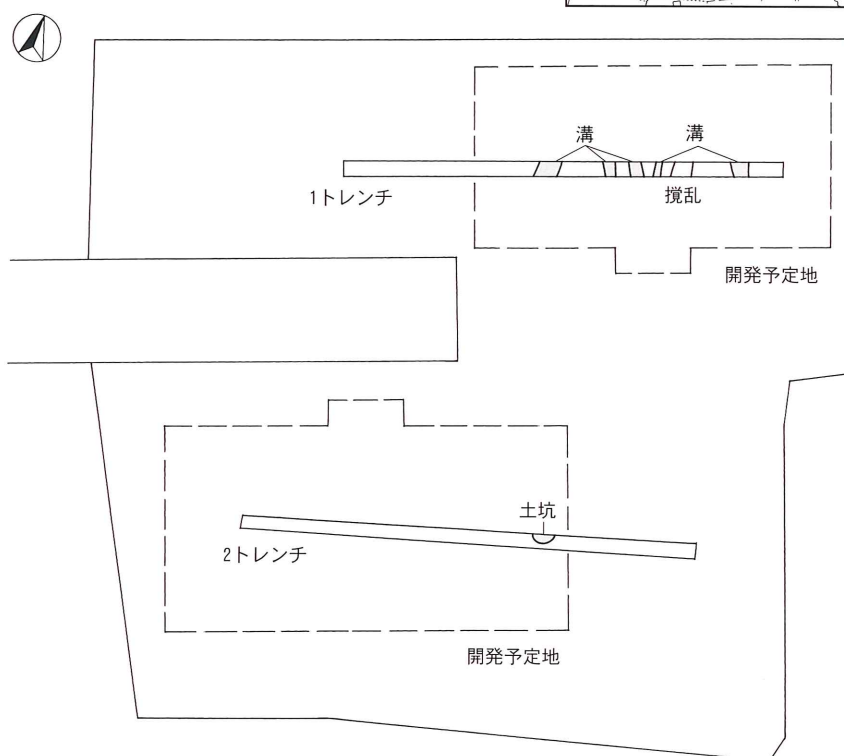
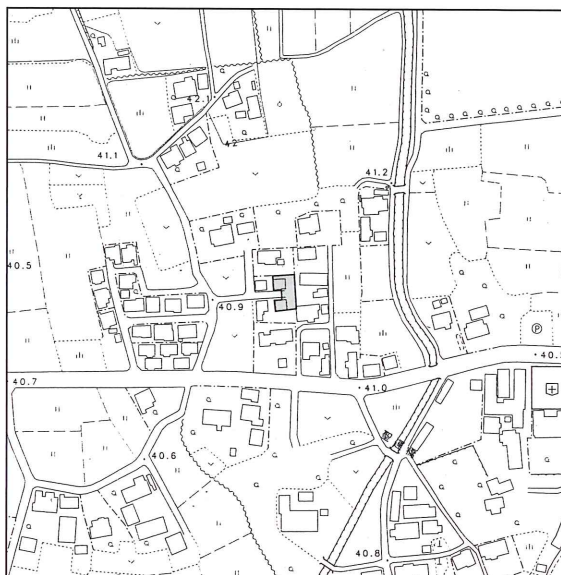
## 18. 島遺跡 (台帳H22No.81)

- ① 所在地 太田市只上町1329-1
- ② 調査面積 15㎡ (対象面積717.35㎡)
- ③ 調査原因 個人住宅
- ④ 調査期間 平成22年9月2日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構・遺物は確認されなかった。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。

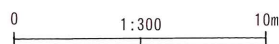
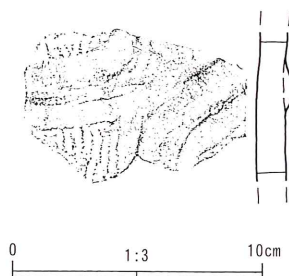


# 19. 細谷東遺跡 (台帳H22No.301)

- ① 所在地 太田市細谷町1473-3、1477-5
- ② 調査面積 25㎡ (対象面積706㎡)
- ③ 調査原因 集合住宅
- ④ 調査期間 平成22年10月29日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 土坑1基、溝5条が確認された。遺物は縄文土器の破片1点が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 溝、土坑は近世以降の遺構と考えられるため、発掘調査の必要はないと判断される。



1	表土 (40cm)
2	黒褐色 (25cm)



細谷東遺跡遺物観察表

番号	種 器 類 種	出土位置	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	縄文土器 深鉢	1トレンチ	胴部破片	— ・ — ・ —	中砂粒	良好	うす橙	隆帯による区画中に縄文を転がす

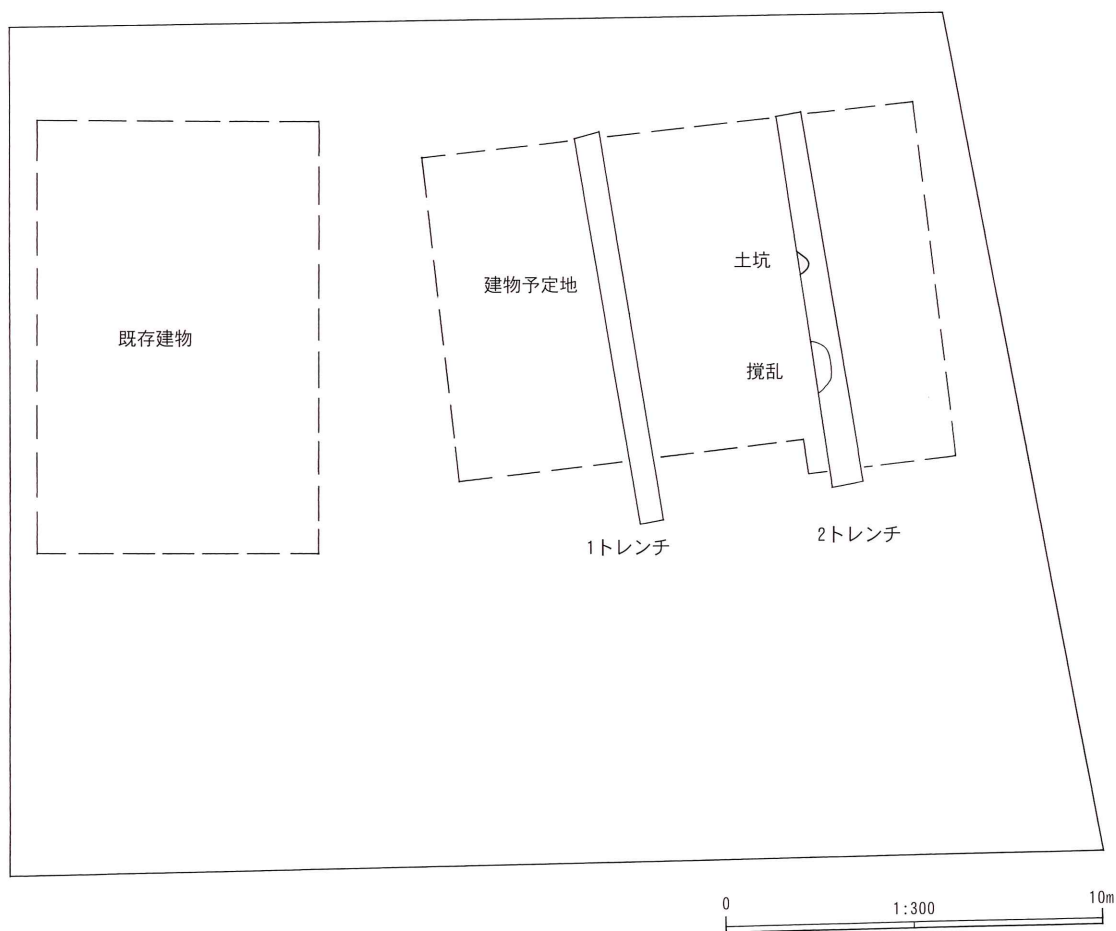


## 20. 反町城館跡 (台帳H22No.296)

- ① 所在地 太田市新田反町町538-1
- ② 調査面積 14㎡ (対象面積558.67㎡)
- ③ 調査原因 個人住宅
- ④ 調査期間 平成22年10月18日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は土坑1基が確認された。遺物は出土しなかった。
- ⑦ 取扱い方法 土坑は近世以降の遺構と考えられるため、発掘調査の必要はないと判断される。

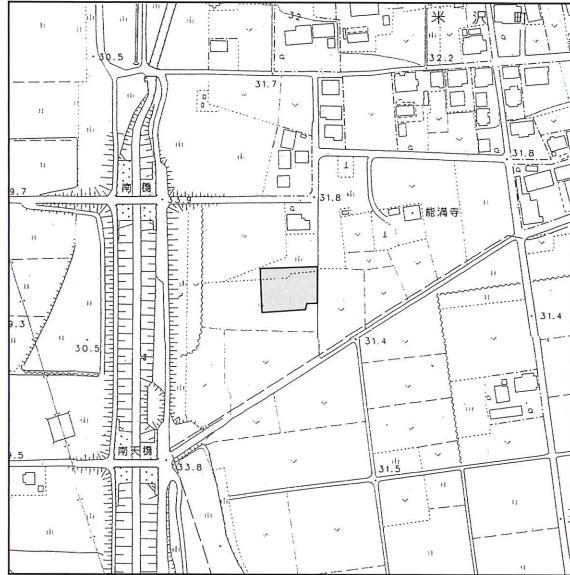


1	攪乱層 (69cm)
2	黒褐色土 (19cm) 粘性 中
3	黒色土 (14cm) 粘性 強
4	ローム層 (8cm)

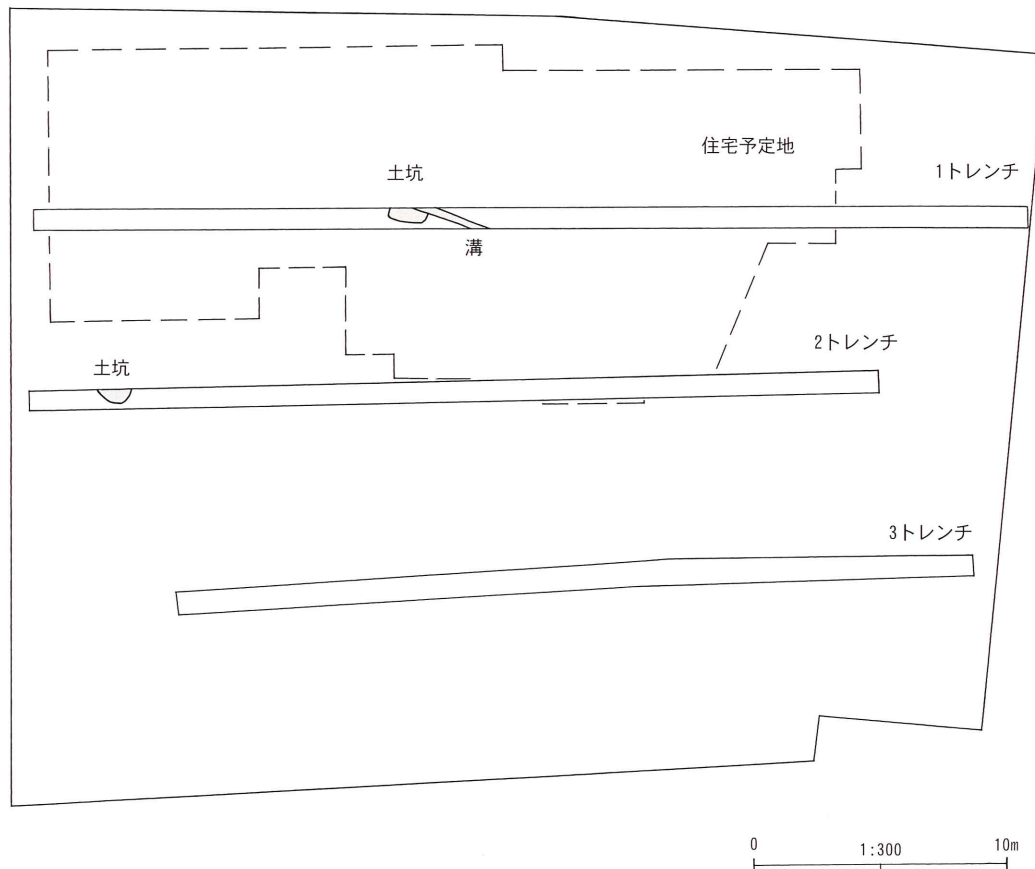


## 21. 石田川遺跡 (台帳H22No.300)

- ① 所在地 太田市米沢町231-1、2
- ② 調査面積 98㎡ (対象面積1,036㎡)
- ③ 調査原因 グループホーム
- ④ 調査期間 平成22年9月3日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は土坑2基、溝は1条が確認された。遺物は出土しなかった。
- ⑦ 取扱い方法 遺構は近世以降と考えられるため、発掘調査の必要はないと判断される。

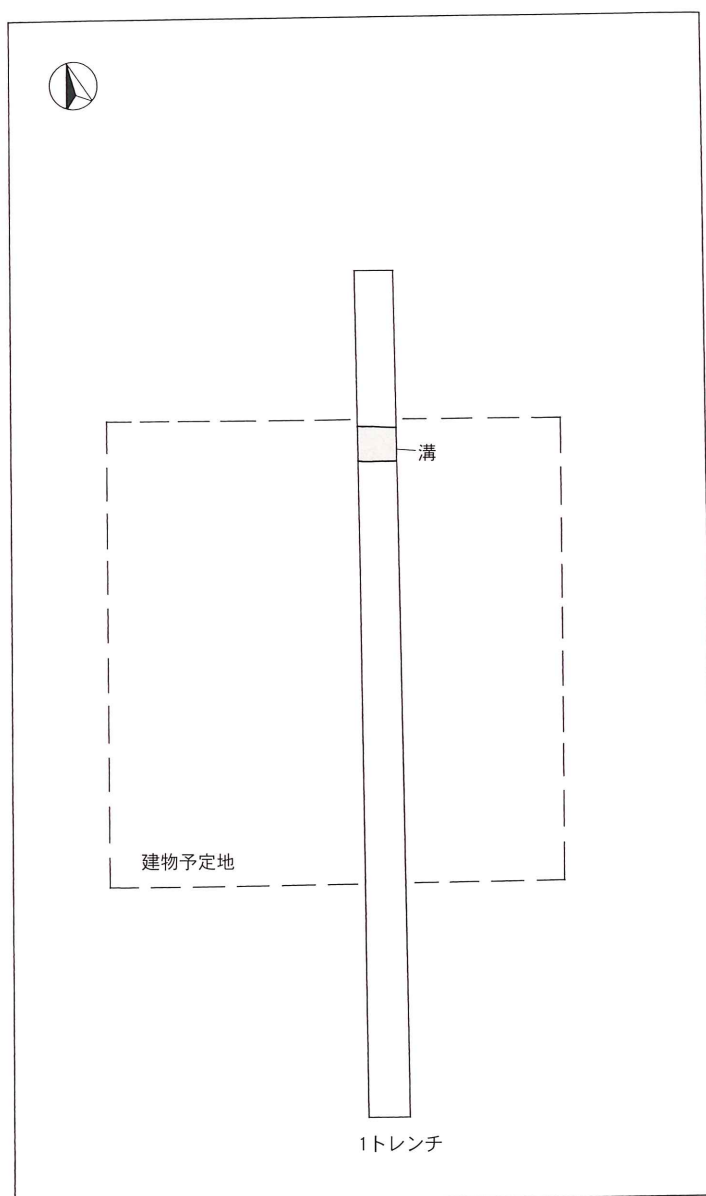
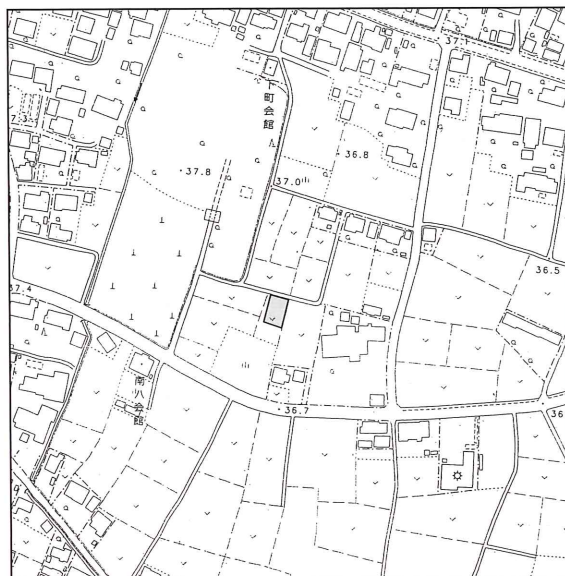


1	表土 (40cm)
2	黒色土 (25cm) 粘性しまり強
3	黒褐色土 (10cm)

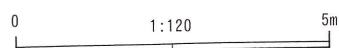


## 22. FP 泥流下遺跡群 (台帳H22No.234)

- ① 所在地 太田市世良田町1117-1
- ② 調査面積 9 m<sup>2</sup> (対象面積179.82m<sup>2</sup>)
- ③ 調査原因 携帯電話基地局
- ④ 調査期間 平成22年9月27日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に1本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は溝1条が確認された。遺物は出土しなかった。
- ⑦ 取扱い方法 溝は近世以降の遺構と考えられるため、発掘調査の必要はないと判断される。

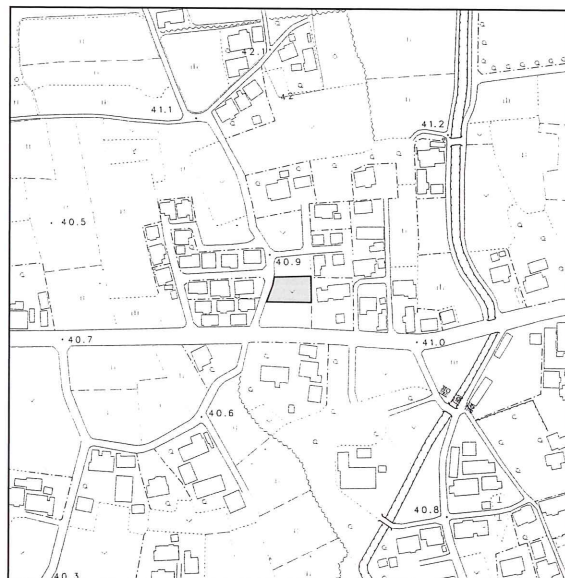


1	攪乱層 (75cm) 暗褐色
2	FP泥流 (5cm) 黄褐色

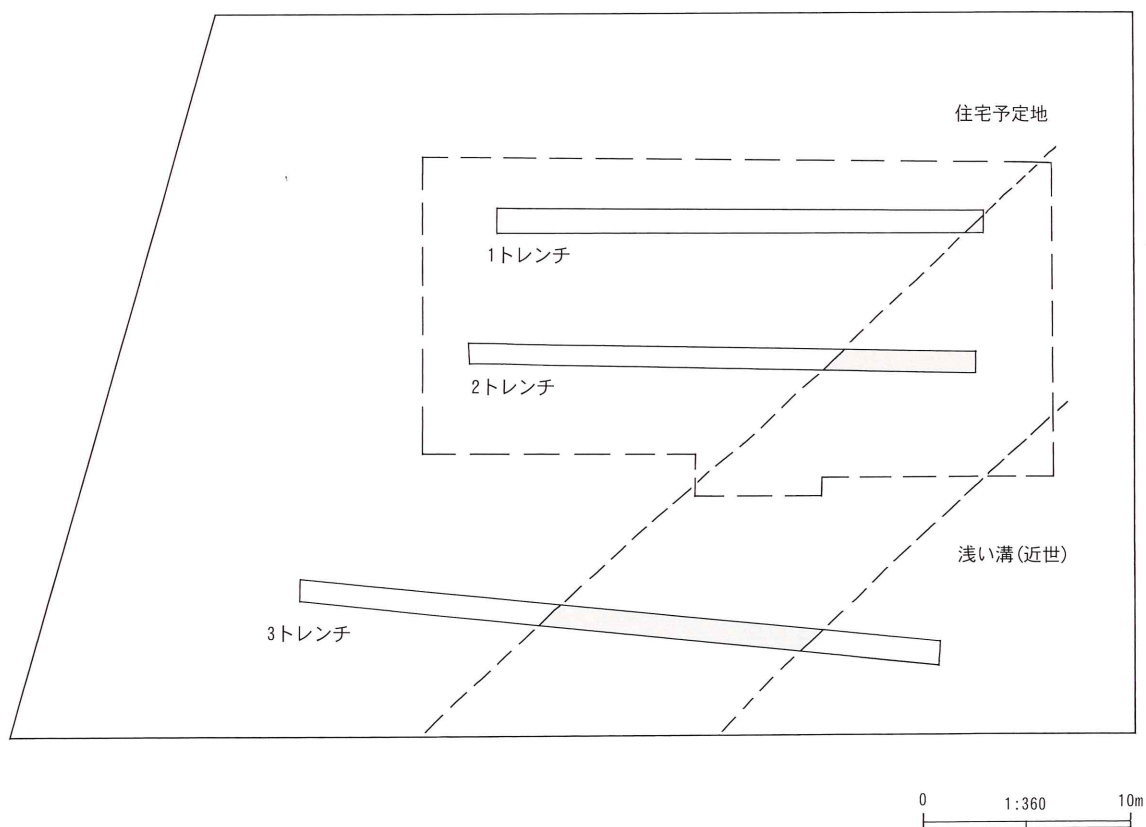


### 23. 細谷東遺跡 (台帳H22No.342)

- ① 所在地 太田市細谷町1476-1
- ② 調査面積 32.8㎡ (対象面積415㎡)
- ③ 調査原因 個人住宅
- ④ 調査期間 平成22年9月22日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は溝1条が確認された。遺物は近世の磁器片が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 遺構は近世以降と考えられるため、発掘調査の必要はないと判断される。

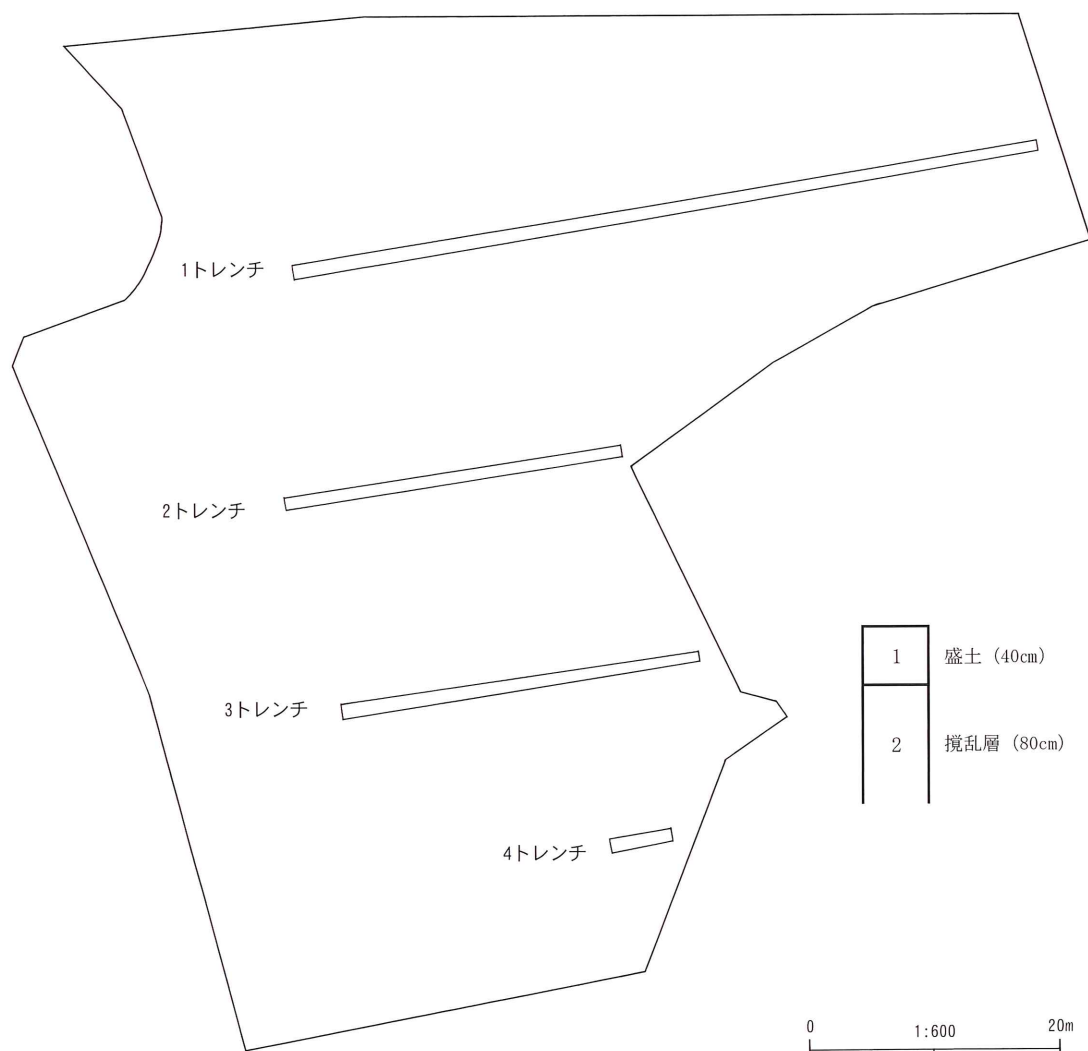
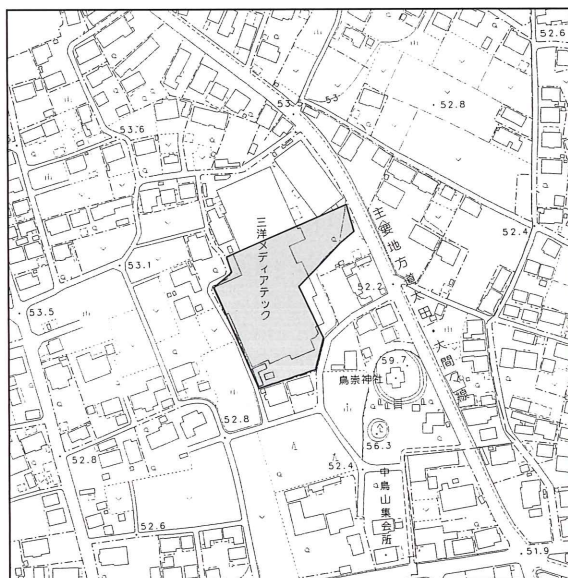


1	暗褐色シルト表土 (33cm)
2	ローム塊混ざる暗褐色シルト (17cm)
3	ローム層



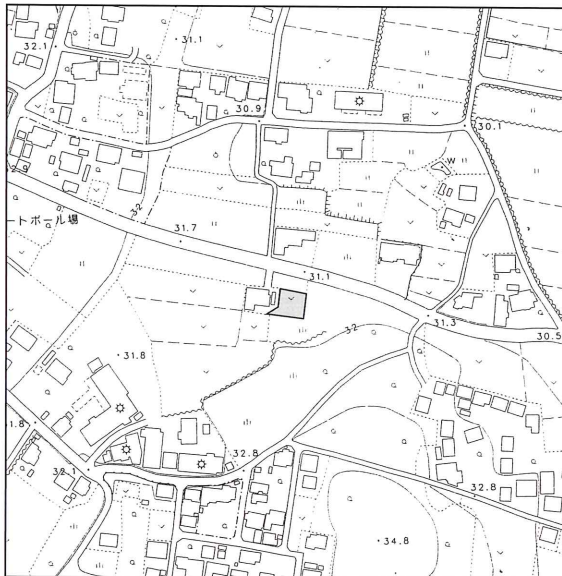
## 24. 鳥ヶ谷戸遺跡（台帳H22No.206）

- ① 所在地 太田市鳥山中町843-1
- ② 調査面積 179㎡（対象面積5,803.45㎡）
- ③ 調査原因 宅地造成
- ④ 調査期間 平成22年9月21～22日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に4本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構・遺物は確認されなかった。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。

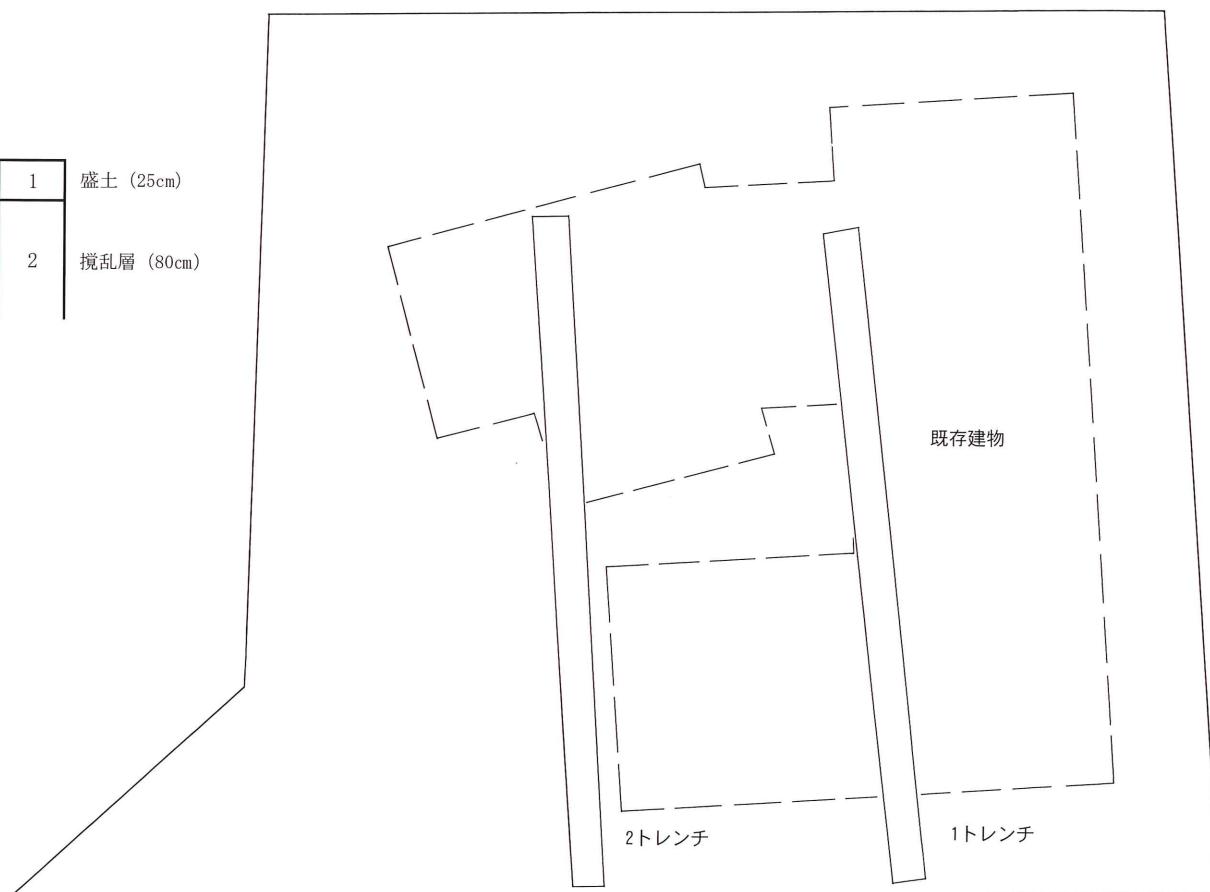


## 25. 石神遺跡（台帳H22No.392）

- ① 所在地 太田市龍舞町756-3
- ② 調査面積 17㎡（対象面積331㎡）
- ③ 調査原因 個人住宅
- ④ 調査期間 平成22年9月30日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構・遺物は確認されなかった。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



1	盛土（25cm）
2	攪乱層（80cm）

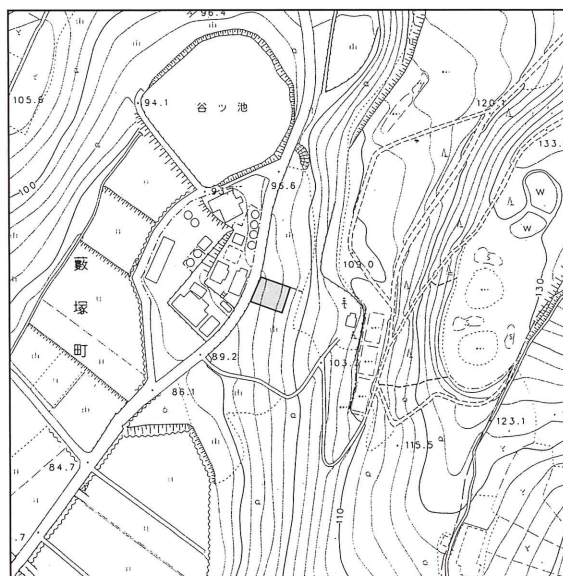


0 1:150 5m

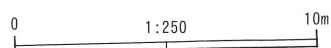
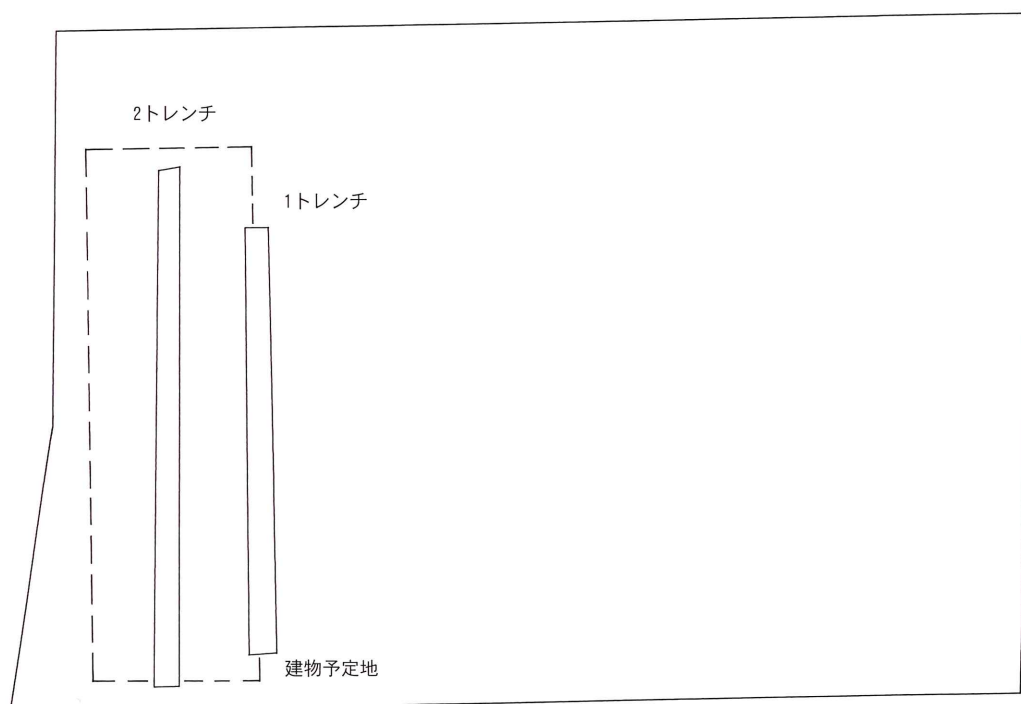


## 26. 谷遺跡 (台帳H22No.186)

- ① 所在地 太田市藪塚町3192-3
- ② 調査面積 21㎡ (対象面積720.89㎡)
- ③ 調査原因 倉庫及び休憩所
- ④ 調査期間 平成22年10月6日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構・遺物は確認されなかった。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。

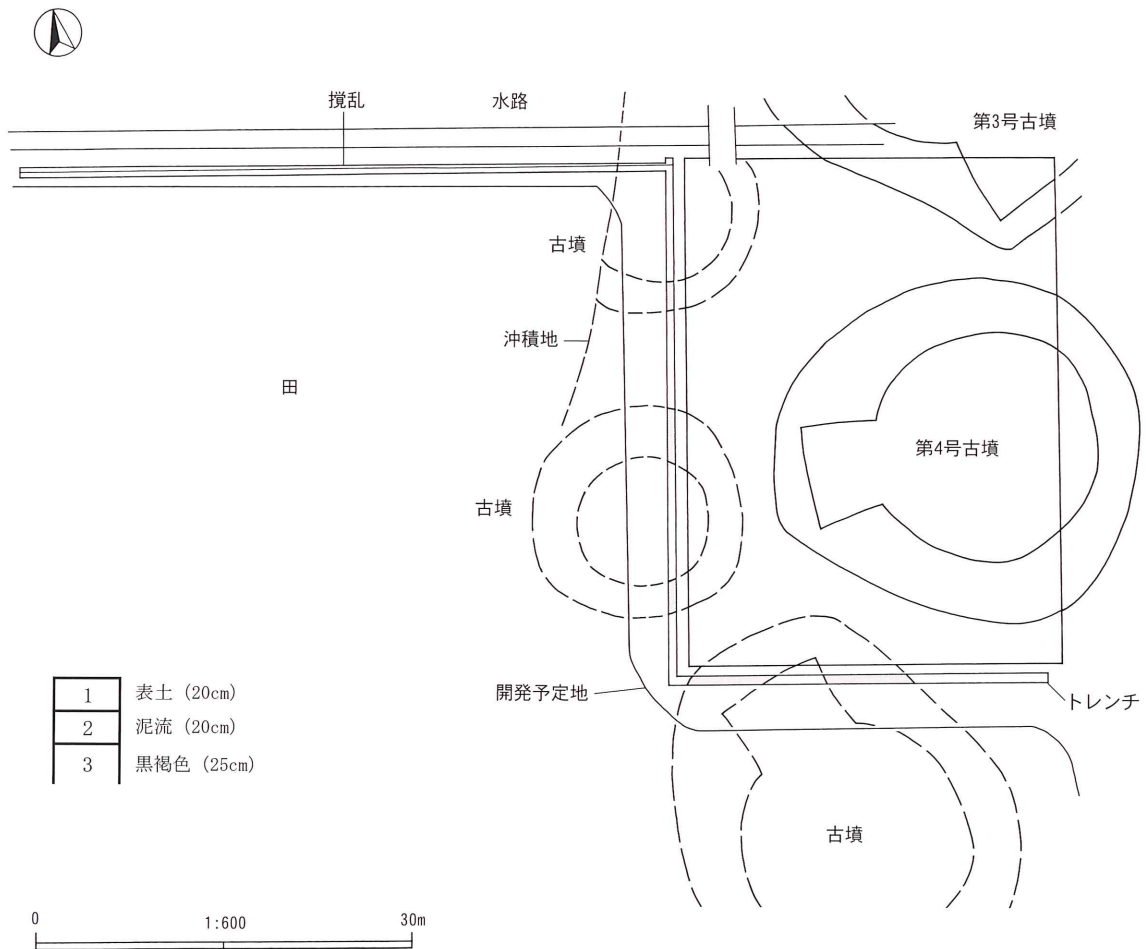
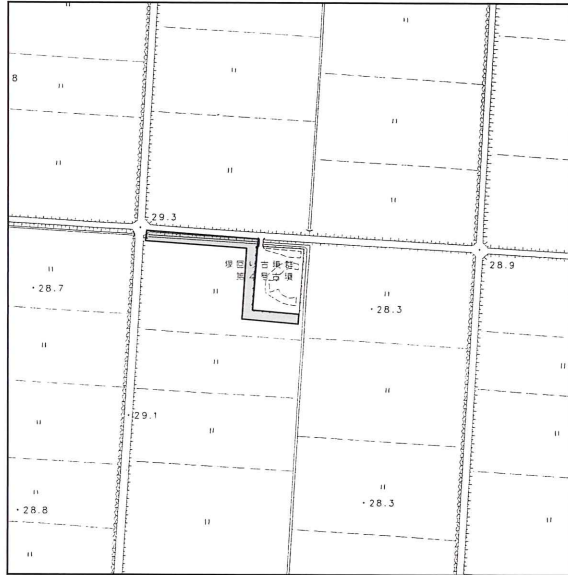


1	黒褐色土 (25cm)
2	ローム層 (10cm以上)



## 27. 塚廻り古墳群（台帳H22No.218）

- ① 所在地 太田市龍舞町地先
- ② 調査面積 86㎡（対象面積2,600㎡）
- ③ 調査原因 農業用水路改修工事
- ④ 調査期間 平成22年10月26～28日
- ⑤ 調査方法 開発予定地にトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 古墳の周溝と推定される溝5箇所が確認された。遺物は古墳時代前期の土器片が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 遺構が壊される部分について、本調査を行う必要があると判断される。



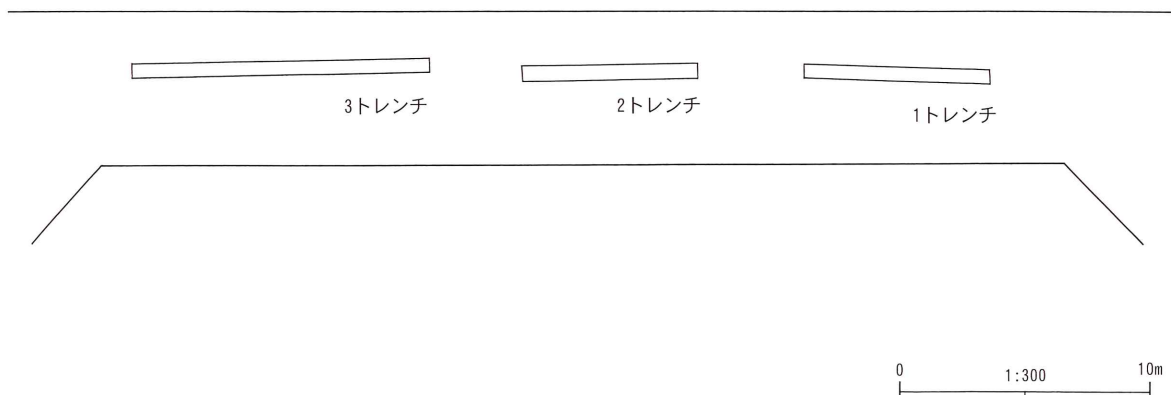


## 28. 浜町古墳群（台帳H22No.462）

- ① 所在地 太田市浜町8-15、16、17、18
- ② 調査面積 22㎡（対象面積300㎡）
- ③ 調査原因 区画整理
- ④ 調査期間 平成22年11月4日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構・遺物は確認されなかった。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。

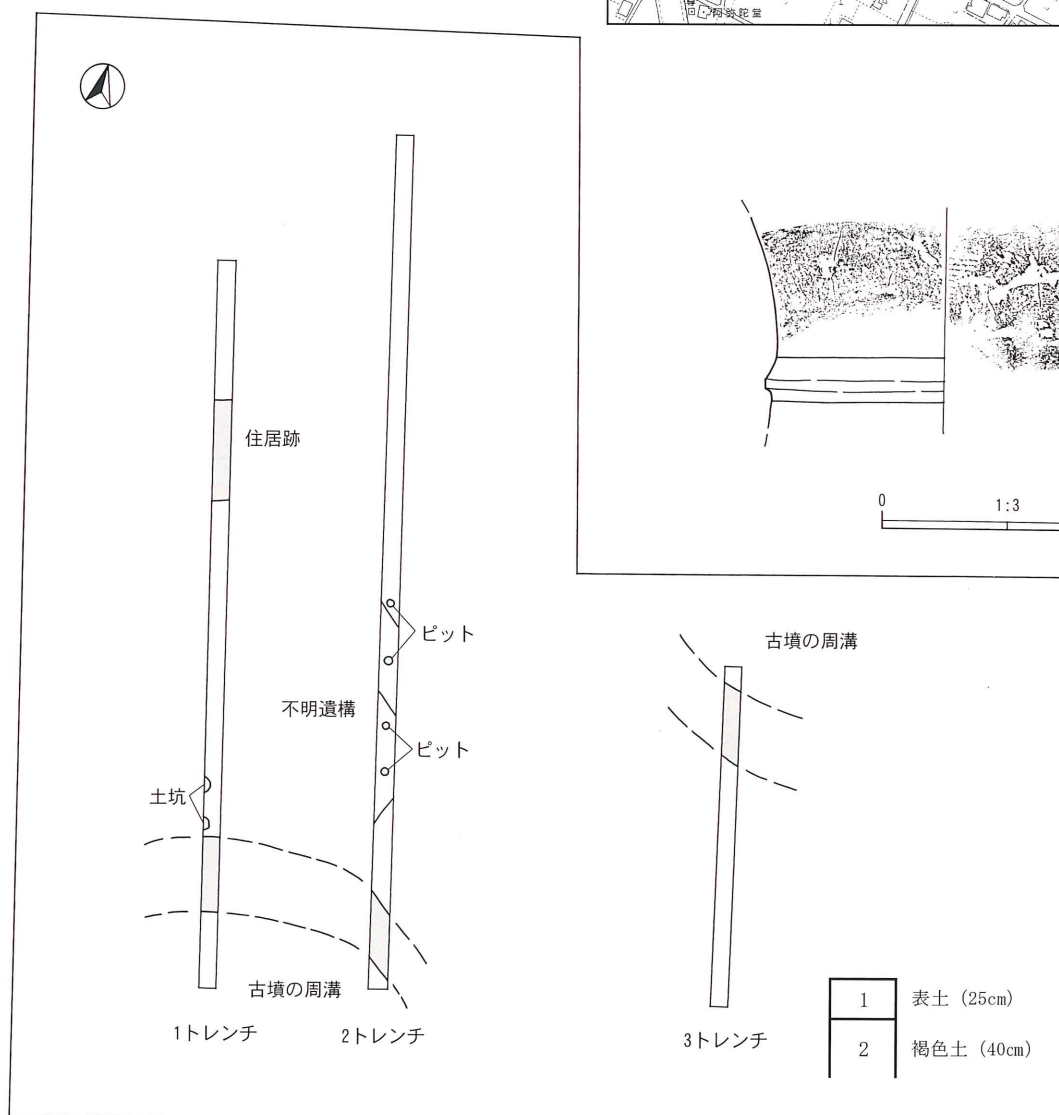
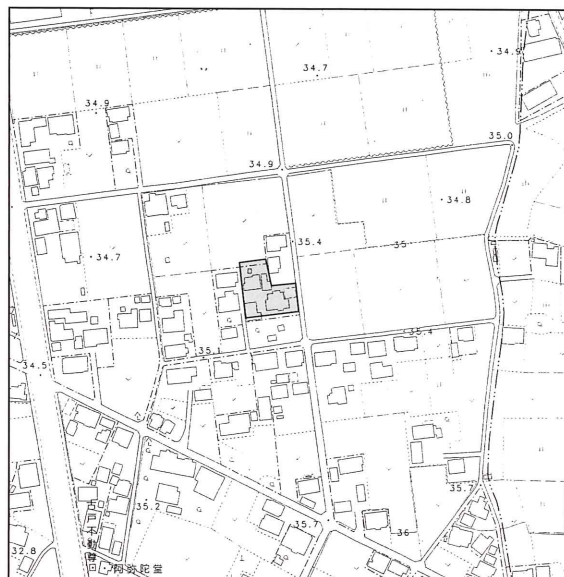


1	盛土（35cm）
2	表土（20cm）
3	茶褐色土（20cm）
4	ローム層



## 29. 古戸赤城遺跡 (台帳H22No.371)

- ① 所在地 太田市古戸町957-1、962-2
- ② 調査面積 50㎡ (対象面積978.12㎡)
- ③ 調査原因 グループホーム
- ④ 調査期間 平成22年11月12日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は古墳の周溝2箇所、住居跡1軒、土坑2基、柱穴4本が確認された。遺物は埴輪片1点が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 遺構が現状保存されるため、本調査の必要はないと判断される。



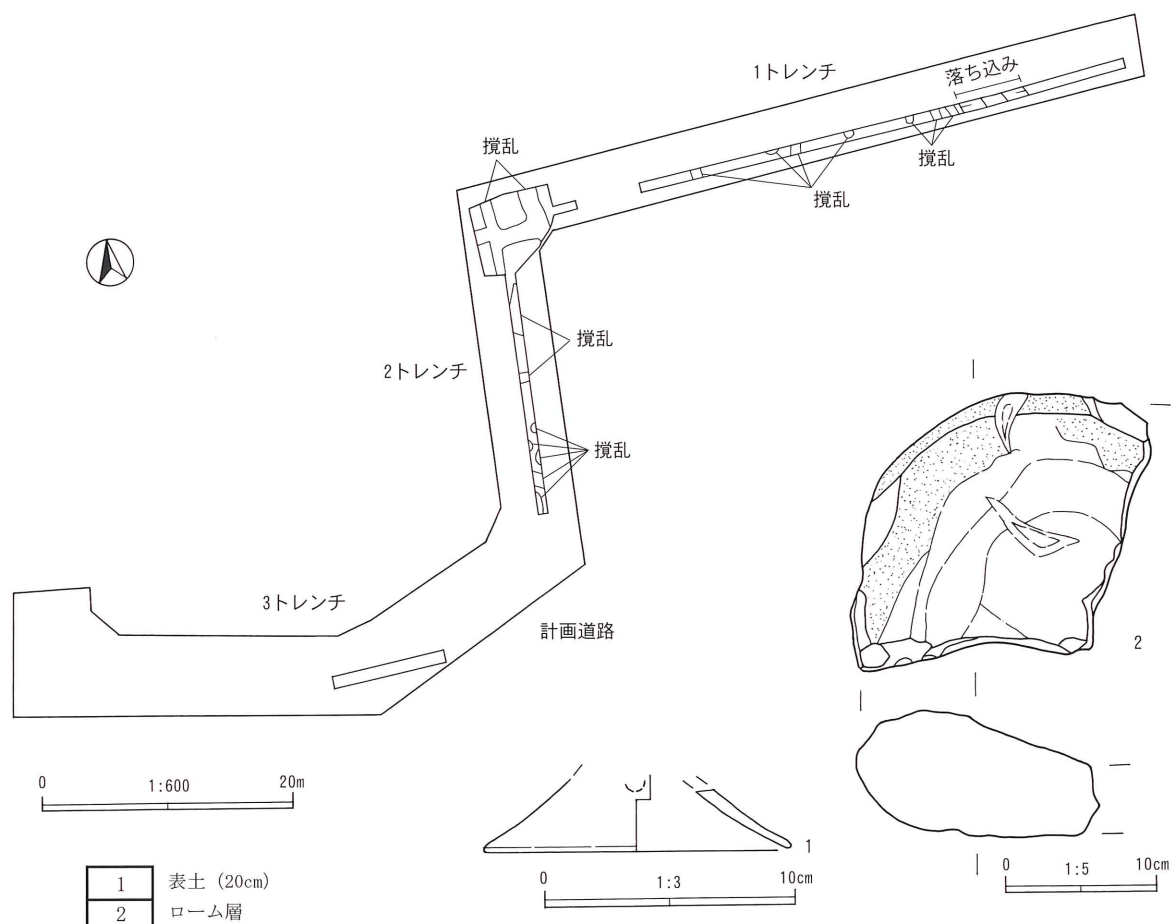
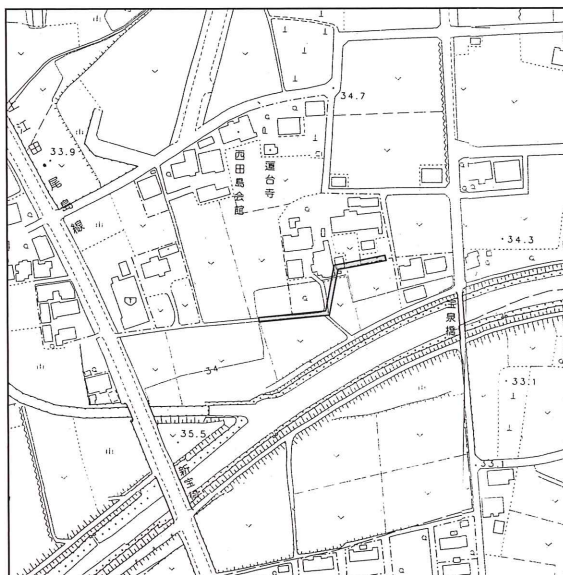
0 1:250 10m

古戸赤城遺跡遺物観察表

番号	種 器 類	出土位置	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形状の特徴
1	円筒埴輪	1トレンチ	破片	—・—・—	中砂粒	良好	橙	タガは稜を持っていない

### 30. 下田島遺跡 (台帳H22No.106)

- ① 所在地 太田市下田島町1018-1、1067、1030
- ② 調査面積 55㎡ (対象面積663.5㎡)
- ③ 調査原因 区画整理
- ④ 調査期間 平成22年11月8～9日
- ⑤ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 遺構は確認されなかったが、縄文時代と推定される石皿1点、古墳時代の土器片1点が出土した。
- ⑦ 取扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



下田島遺跡遺物観察表

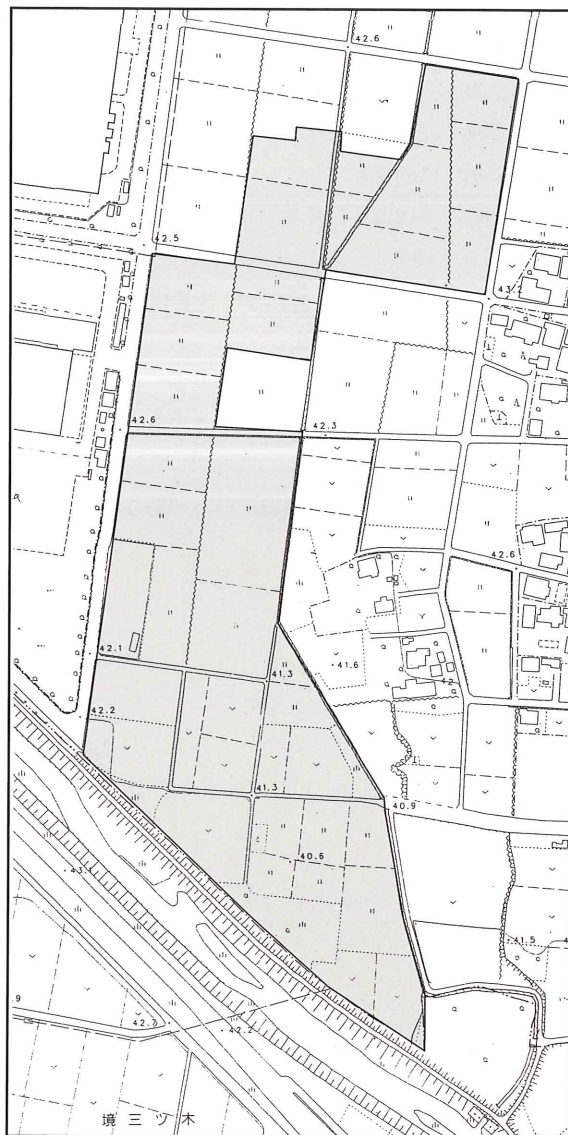
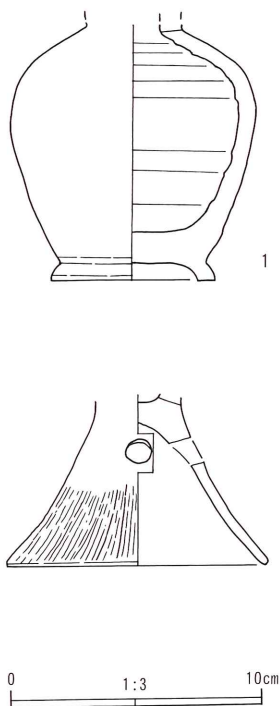
番号	種類	出土位置	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	器台		台部の一部	—・(12.1)・—	細砂粒	良好	うす橙	外面に塗彩

下田島遺跡石製品計測表

番号	器種	計測値(mm)			石質等
		最大長	最大幅	最大厚	
2	石皿	—	—	(7.90)	安山岩性。裏面に孔1箇所あり

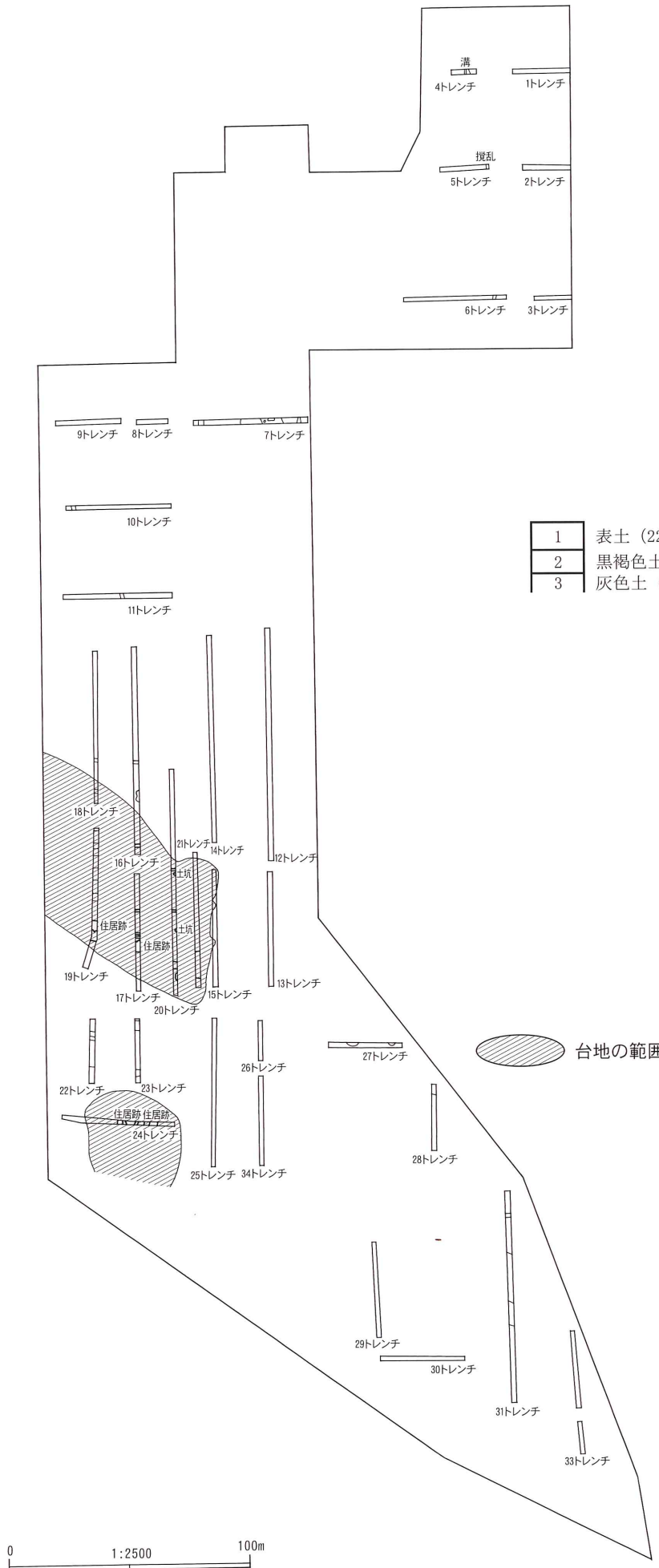
### 31. 川久保遺跡 (台帳H22No.588)

- ① 所在地 太田市新田下田中町地内
- ② 調査面積 2,221㎡ (対象面積75,000㎡)
- ③ 調査原因 工業団地
- ④ 調査期間 平成23年2月～3月
- ⑤ 調査方法 開発予定地の内遺構が存在することが予測される地点に34本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。同時に、写真撮影、図面作成、土層確認を実施した。
- ⑥ 調査結果 住居跡4軒、土坑2基、柱穴4本、溝8条が確認された。遺物は古墳時代を中心とした土器片1/4ケースが出土した。
- ⑦ 取扱い方法 遺構が確認された約7,500㎡について発掘調査を行う必要があると判断される。



川久保遺跡遺物観察表

番号	種器 種類	出土位置	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	須恵器 長頸壺	24トレンチ	1/2	— ・ ( 6.6 ) ・ —	細砂粒	良好	灰色	
2	土師器 高坏	15トレンチ	台のみ	— ・ ( 10.3 ) ・ —	中砂粒	良好	うす橙	内面刷毛目、外面ヘラ磨。すかし 穴は3箇所





## 第5章 まとめ

平成22年度に市内遺跡発掘調査の対象となった遺跡は31件であり、このうち17箇所では何らかの遺構が確認され、3件については記録保存のための本調査を実施することとなった。これ以外の14件は現状保存等の措置により遺跡の保存を図ることができた。

平成22年度の代表的な調査としては、新田館跡（15）、塚廻り古墳群（27）、古戸赤城遺跡（29）、川久保遺跡（32）の調査をあげることができる。

新田館跡の調査は、現状では位置を特定することのできない新田館跡の東側の堀の位置を確認することができた。新田館跡は、新田一族の総領クラスの館跡と伝えられ、その一部が「新田荘遺跡 総持寺境内」として史跡に指定されているが、ほとんどが住宅地であるため発掘調査は一部しか行われておらず、その実態はあまり明らかになっていない。今後の調査の積み重ねにより、実態を明らかにしていくことが必要であろう。

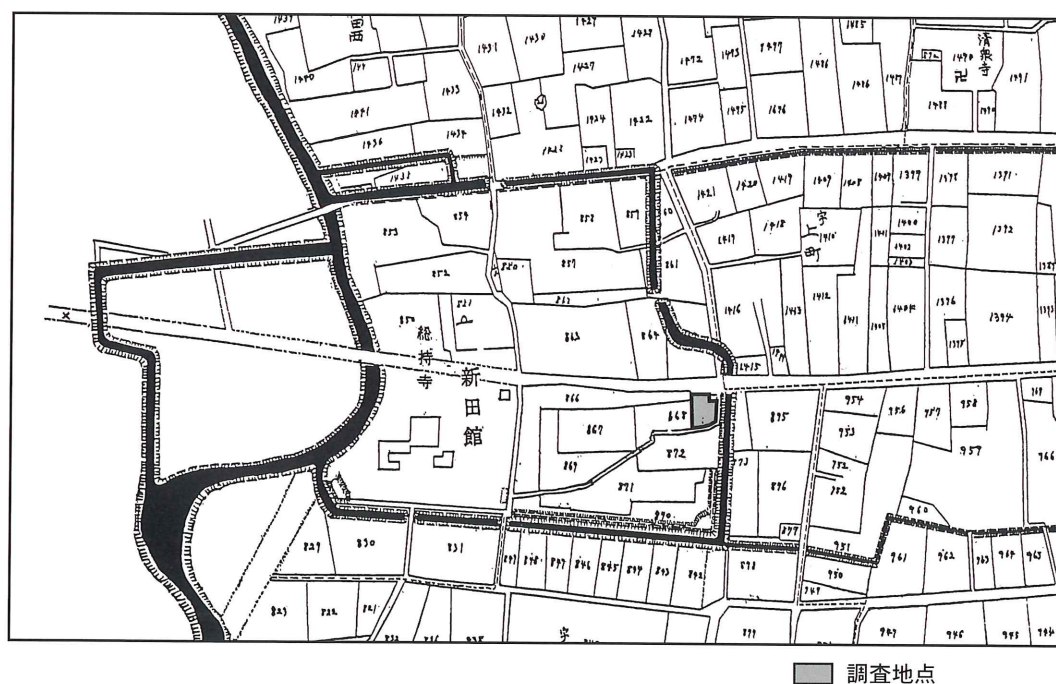
塚廻り古墳群の調査は、群馬県指定史跡であり、重要文化財に指定された形象埴輪を出土した「塚廻り古墳群」の隣接地で実施され、塚廻り4号墳、3号墳の周囲に複数の古墳が存在することを確認することができた。また、古墳が泥流により埋没していることを確認することができた。他部局との調整の結果、現状保存することができず、記録保存することとなったが、塚廻り古墳群の広がりをおぼろげに窺うことができた点で、重要な調査となった。

古戸赤城遺跡の調査においても、これまで未確認であった小規模な古墳2基を確認することができた。

川久保遺跡の調査は、これまで実態が明らかでなかった早川流域に存在する集落の一端を明らかにすることができた。

市内遺跡の調査は、総じて小規模な調査であるが、数を重ねることにより全体像が見えることがあり、これが確認調査の大きな成果であるといえる。今後の周辺の調査とも連携させ、遺跡の正確な把握と保護に務めていきたい。

最後に、調査に際してご協力いただいた事業主の方々、ならびに寒暖の中で発掘調査に従事された方々に深く感謝の意を表したい。

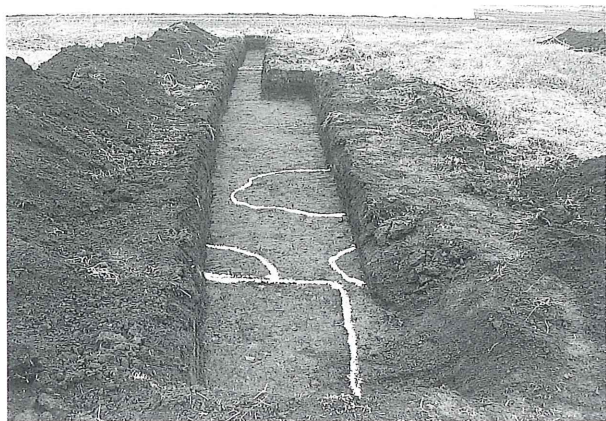


「世良田環濠集落」新田館跡部分拡大（縮尺＝1/500）

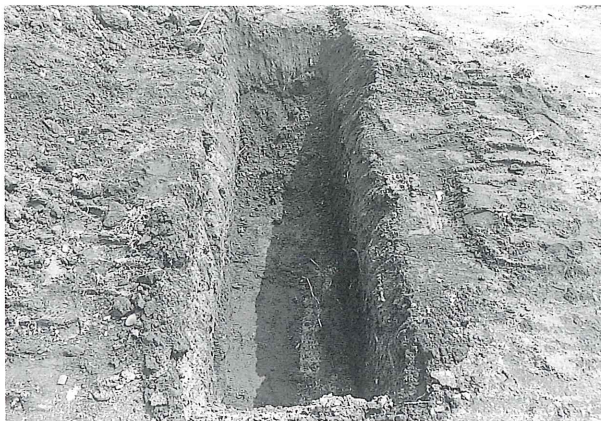
尾島町教育委員会『新田館跡 国道354号特定交通安全施設等整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書  
(1997)』より転載



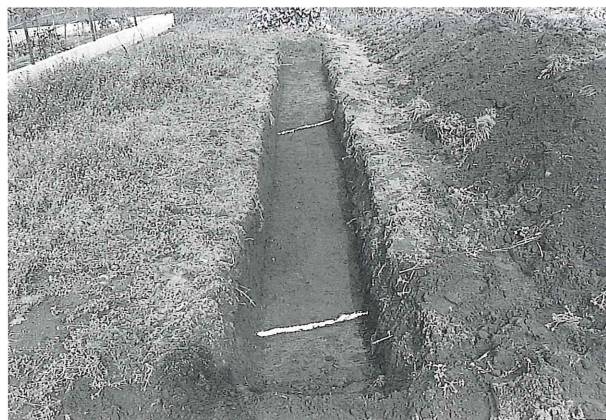
# 確認調査写真



1 鎧着遺跡



2 一町田・堀之内遺跡



3 細谷東遺跡



4 向野遺跡



5 反町城館跡



6 FP 泥流下遺跡群



7 東矢島遺跡



8 向野遺跡





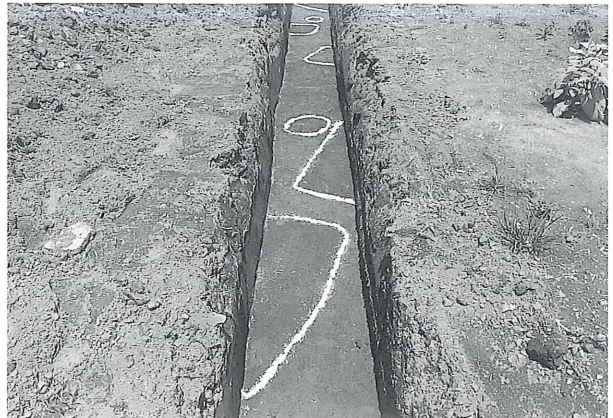
9 細谷東遺跡



10 石橋地藏久保遺跡



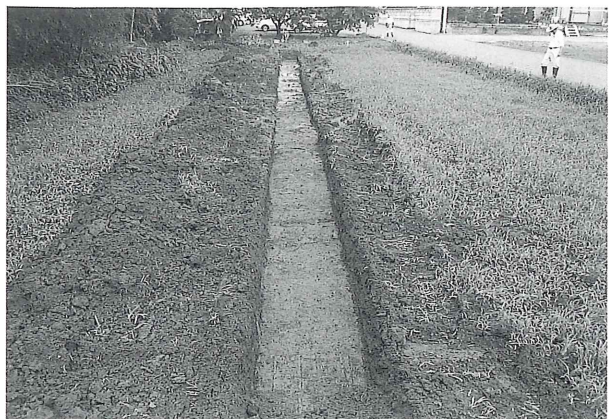
11 猿楽遺跡



12 東部地区遺跡群



13 鳥ヶ谷戸遺跡



14 下田島遺跡



15 新田館跡



16 今井地区遺跡群

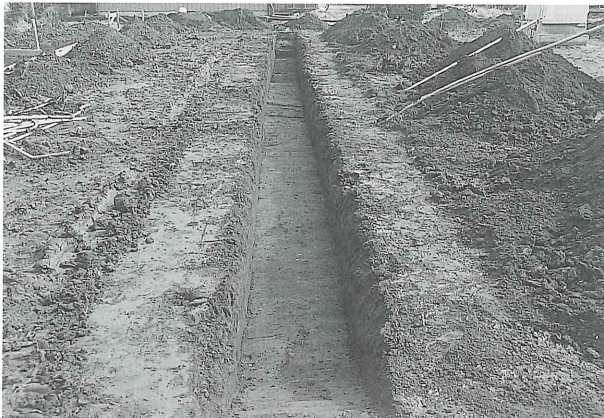




17 東部地区遺跡群



18 新島遺跡



19 細谷東遺跡



20 反町城館跡



21 石田川遺跡



22 FP 泥流下遺跡群



23 細谷東遺跡



24 鳥ヶ谷戸遺跡





25 石神遺跡



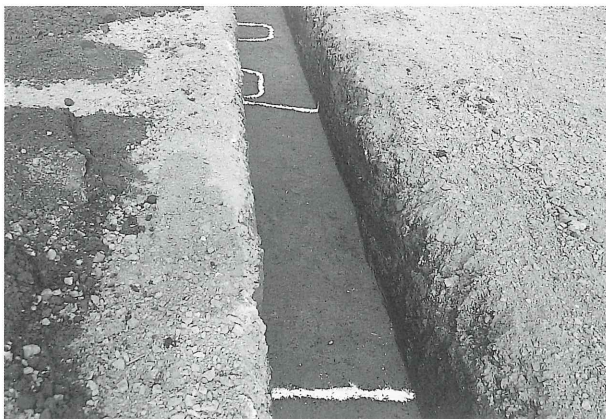
26 谷遺跡



27 塚廻り古墳群



28 浜町古墳群



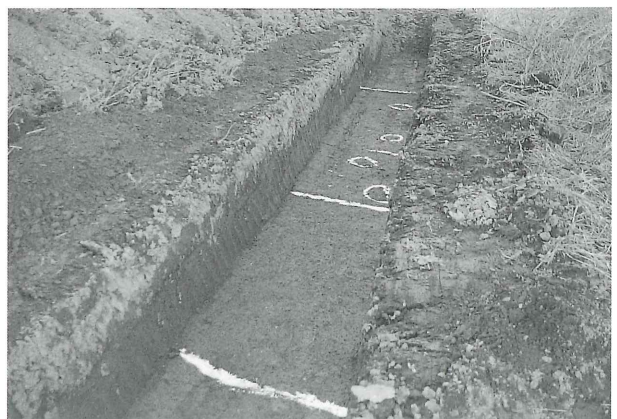
29 古戸赤城遺跡



30 下田島遺跡



31 川久保遺跡



31 川久保遺跡



## 報告書抄録

フリガナ	オオタシナイイセキ
書名	太田市内遺跡 7
副書名	平成22年度調査
巻次	—
シリーズ名	—
シリーズ巻名	市内遺跡
編著者名	小宮 俊久
編集機関	太田市教育委員会
編集機関所在地	〒370-0495 群馬県太田市粕川町520 TEL 0276-20-7090
発行年	平成24年 3月23日
所収遺跡	市内の遺跡31箇所（詳細は調査地一覧表に記載）

### 太田市内遺跡 7

—平成22年度調査—

平成24年 3月21日 印刷

平成24年 3月23日 発行

編集・発行 群馬県太田市教育委員会

群馬県太田市粕川町520

電話 0276-20-7090

印刷 朝日印刷工業株式会社